

一般社団法人 淡路青年会議所

2015 年度事業報告並びに決算報告書

2015 年度理事長 平川 智己

1. 理事長報告	1
2. 副理事長報告	2
3. 専務理事報告	3
4. 諸会議報告	4
5. 委員会事業報告	11
6. 委員会別事業決算明細	25
7. 直前理事長報告	36
8. 出向報告	37
9. 監事報告	47
10. 会員動向	48
11. 役員名簿	49
12. 出向者一覧	50
13. 組織及び委員会構成	51
14. 褒賞	52
15. 決算報告	53
16. 監査報告	65
17. 資料	66

2016 年度事業計画並びに収支予算書

2016 年度理事長 中田 勝文

1. 理事長所信	98
2. 基本方針	101
3. 副理事長・室長抱負	102
4. 専務理事抱負	103
5. 監事抱負	104
6. 委員長・公室長事業計画並びに予算及び役割業務	105
7. 出向者抱負	117
8. 一般会計収支予算	122
9. 役員名簿	126
10. 出向者一覧	127
11. 組織及び委員会構成	128
12. 年間スケジュール	129
13. 日本 JC 近畿地区兵庫ブロック協議会組織図	130

2015年度

事業報告書

2015年1月1日～2015年12月31日

一般社団法人淡路青年会議所

**一 般 社 団 法 人
淡 路 青 年 会 議 所**

2015年度 スローガン

淡路島 NEXT STAGE

～革新が伝統を創る～

2015年度 基本方針

- 一、 伝統を踏まえ、勇気をもって挑戦しよう
- 一、 恐れず、遠慮せず互いにぶつかり合おう
- 一、 不可能から入らず、まず可能性から考えよう

1. 理 事 長 報 告



本年度、理事長という立場をいただき、諸先輩方並びにメンバー、そして多くの方々にご協力いただき、全う出来ましたことを心より感謝申し上げます。組織の方向性、なすべきこと、ビジョンを指し示していく立場ではありましたが、振り返ってみると、私自身が勉強をさせて頂き共に成長させていただいたという印象が強く残っています。

本年は「淡路島 NEXT STAGE～革新が伝統を創る～」を掲げ、全力で走って参りました。皆さまのご協力があって、我々淡路 JC は NEXT STAGE へ歩みだせたと感じています。

本年度の重要な活動の一つとして、淡路島をひとつと捉え「日本遺産」登録に向けて邁進して参りました。結果としては本年取得できませんでしたが、島内三市をまとめ、未来へ繋がる展開ができました。そして、社会開発事業として、古事記の冒頭を飾る「国生み神話」をもとに、外国人の皆さまに淡路島を体感していただく事業を実施し、評価をいただいたことは今後の地域の糧になると思っています。

また、青少年育成事業も開催し、子どもたちがグループに分かれて淡路島のアイデンティティについて調査研究し、人と人の関わりをもって子どもたち自ら体験してきました。子どもたちが体験して感じたことを取り纏めて多くの人の前で堂々と発表する姿は素晴らしいものであり未来の淡路島を明るくする一助に繋がると感じました。

わんぱく相撲も 21 回目を迎え、初めて南あわじ市で開催できたことは、今後、三市隔たり無く開催できる基盤を構築できたと思っています。

1 年間の活動内容を振り返り、委員長の皆様方をはじめ、メンバー全員が役割を全うしていただいた事がなによりと感じます。「革新が伝統を創る」とは淡路 JC の基本理念・三信条とともに勇気をもって挑戦する姿勢、恐れず遠慮せず互いにぶつかり合うこと、そして不可能から入らず可能性を見出すことから新しい伝統を創ることができました。今年の経験が今後の JC 活動、人生に役立っていただけたらと思います。今年 1 年お世話になった方々に対しあらためて深く感謝申し上げます。

2. 副 理 事 長 報 告

副理事長 有賀 雄一 浅井 克也 中田 勝文 甚尾 篤弘



まず初めに副理事長という大役を頂いたことを、平川理事長はじめ、関係者の皆様に改めてお礼申し上げます。2015年度は4名の副理事長で、理事長の掲げる「淡路島 NEXT STAGE ～確信が伝統を創る～」のスローガンの下、目的達成に向けて全メンバーが与えられた役割を全う出来るよう副理事長として務めてまいりました。三役間で十分に議論し意思統一を図り、各委員会に対し、趣旨目的に沿った調査研究が行われ、方向性に相違なく緻密な事業になるように指導を行いました。そして我々がこれまでJC活動で経験し学んだことや諸先輩方から教わったことを率先して行動で示し伝播を行ってまいりました。思惑通りに進んだ事業、またそうでなかった事業もあったと思いますが、我々が今年度、挑戦し得た経験は淡路JCの宝として次年度へ引き継がれていくと確信しております。

最後に、1年間関わっていただいたメンバーの皆様に改めて感謝申し上げます報告とさせていただきます。

3. 専務理事報告

専務理事 三倉 克仁



今年度、組織の根幹を支える専務理事の立場いただき、理事長はじめ理事会構成者並びにメンバー諸兄の多大なるご協力のもと職務を全う出来ましたことを感謝申し上げます。

専務理事として、理事長が指し示す方向へと導き円滑な組織運営を行っていくために、不測の事態も想定しながら、三役間だけでなくメンバー全員まで伝わるように気を配ることで、広い視野で俯瞰的に判断することの大切さを学ばせていただきました。

また、他 LOM や特別会員、関係諸団体と連絡調整を行っていくうちに、JC 運動や活動の意義、目的を再認識させていただきました。

1年間活動させていただく中で、多々ご迷惑をお掛けしたこともありますが、多くの気づきと経験を得られたことに心より感謝申し上げます専務理事としての報告とさせていただきます。1年間ありがとうございました。

4. 諸 会 議 報 告

一般社団法人淡路青年会議所 第4回定時総会

2015年1月14日(水)於 伊弉諾神宮

出席者 44名 書面評決 6名 委任状 0名

- 第1号議案 例会・総会日時の特
- 第2号議案 2014年度事業報告承認に関する件
- 第3号議案 2014年度正味財産増減決算報告承認に関する件
- 第4号議案 2015年度正味財産増減修正予算承認に関する件

一般社団法人 淡路青年会議所 第4回臨時総会

2015年4月8日(水)於 洲本市文化体育館

出席者 37名 書面評決 14名 委任状 0名

- 第1号議案 例会・総会日時変更に関する件
- 第2号議案 2015年度正味財産増減補正予算承認に関する件

一般社団法人 淡路青年会議所 第5回臨時総会

2015年9月25日(金)於 一般社団法人淡路青年会議所事務局

出席者 23名 書面評決 30名 委任状 0名

- 第1号議案 2015年度正味財産増減第二次補正予算承認に関する件
- 第2号議案 監事退任に関する件
- 第3号議案 2016年度理事予定者承認に関する件
- 第4号議案 2016年度監事予定者承認に関する件

一般社団法人 淡路青年会議所 第5回定時総会

2015年12月9日(水) 於 淡路島観光ホテル

出席者 38名 書面評決 15名 委任状 0名

- 第1号議案 2015年度 預かり金処分に関する件
- 第2号議案 2015年度 正味財産増減決算報告承認に関する件
- 第3号議案 2016年度 組織構成及び委員会構成に関する件
- 第4号議案 2016年度 出向者に関する件
- 第5号議案 2016年度 正味財産増減予算に関する件
- 第6号議案 2016年度 事業計画に関する件
- 第7号議案 2016年度 例会・総会日時に関する件
- 第8号議案 2016年度 預かり金に関する件

理事会報告

月 日	内 容	場 所
1.7(水)	<p>1月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 理事長、副理事長及び専務理事選任の件 (2) 2014年度事業報告の件 (3) 2014年度決算報告の件 (4) 新入会員承認の件 (5) 新入会員配属の件 (6) 準会員承認の件 (7) 2015年度修正予算承認に関する件 (8) 2015年度会費徴収の件 (9) 対内広報紙発行の件 (10) 1月例会の件 (11) 第4回定時総会提出議案の件 (12) 新年会の件 (13) 総合資料作成の件 (14) 会員名簿作成の件 (15) LOM役員懇談会の件【一部審議】 <p>【協議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 2月例会の件【2/2】 (2) 3月例会の件【1/2】 (3) 前期入会候補者説明会の件【1/2】 	夢海遊 淡路島
2.4(水)	<p>2月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) LOM役員懇談会の件 (2) 2月例会の件 <p>【協議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 3月例会の件【2/2】 (2) 前期入会候補者説明会の件【2/2】 (3) 4月例会の件【1/2】 (4) 第21回わんぱく相撲淡路場所の件【1/2】 	夢海遊 淡路島

月 日	内 容	場 所
3.4(水)	<p>3月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 準会員承認の件</p> <p>(2) 1月例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(3) 新年会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(4) 3月例会の件</p> <p>(5) 前期入会候補者説明会の件</p> <p>(6) 第21回わんぱく相撲淡路場所の件【一部審議】</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 4月例会の件【2/2】</p> <p>(2) 5月例会の件【1/2】</p> <p>(3) その他</p>	夢海游 淡路島
4.1(水)	<p>4月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 新入会員承認の件</p> <p>(2) 準会員承認の件</p> <p>(3) LOM役員懇談会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(4) 2月例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(5) 会員名簿の作成事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(6) 4月例会の件</p> <p>(7) 第4回臨時総会提出議案の件</p> <p>(8) 第21回わんぱく相撲淡路場所の件</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 5月例会の件【2/2】</p> <p>(2) 6月例会の件【1/2】</p> <p>(3) 6月絆づくり事業の件【1/2】</p>	夢海游 淡路島
6.3(水)	<p>6月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 新入会員承認の件</p> <p>(2) 新入会員配属の件</p> <p>(3) 3月例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(4) 4月例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(5) 第4回臨時総会 事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(6) 6月例会の件</p> <p>(7) 絆づくり事業の件【一部審議】</p> <p>(8) 青少年育成事業の件【一部審議】</p>	夢海游 淡路島

月 日	内 容	場 所
7.1 (水)	<p>7月理事会</p> <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 7月例会の件【2/2】 (2) 選挙管理委員会設置の件【1/1】 (3) 淡路島まつりおどり大会の件【1/2】 (4) 8月例会の件【1/2】 (5) 9月例会の件【1/3】 (6) 社会開発事業の件【1/3】 <p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 新入会員承認の件 (2) 新入会員配属の件 (3) 総合資料の作成事業報告並びに決算報告の件 (4) 3月例会事業報告並びに決算報告の件 (5) 4月例会事業報告並びに決算報告の件 (6) 5月例会事業報告並びに決算報告の件 (7) 第21回わんぱく相撲淡路場所事業報告並びに決算報告の件 (8) 2015年度後期会費徴収の件 (9) 絆づくり事業の件 (10) 7月例会の件 (11) 選挙管理委員会設置の件 (12) 淡路島まつりおどり大会の件【一部審議】 (13) 青少年育成事業の件 <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 8月例会の件【1/2】 (2) 9月例会の件【2/3】 (3) 後期入会候補者説明会の件【1/2】 (4) 社会開発事業の件【2/3】 	夢海遊 淡路島
7.29 (水)	<p>8月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 6月例会事業報告並びに決算報告の件 (2) 淡路島まつりおどり大会の件 (3) 8月例会の件 (4) 青少年育成事業の件 (5) 9月例会の件【一部審議】 <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 後期入会候補者説明会の件【2/2】 (2) 10月例会の件【1/2】 (3) 社会開発事業の件【3/3】 	夢海遊 淡路島

月 日	内 容	場 所
9.2(火)	<p>9月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 絆づくり事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(2) 7月例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(3) 9月例会の件</p> <p>(4) 後期入会候補者説明会の件</p> <p>(5) 社会開発事業の件【一部審議】</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 10月例会の件【2/2】</p> <p>(2) 11月例会の件【1/2】</p>	夢海游 淡路島
10.7(水)	<p>10月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 準会員承認の件</p> <p>(2) 淡路島まつりおどり大会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(3) 8月例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(4) 10月例会の件</p> <p>(5) 社会開発事業の件</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 11月例会の件【2/2】</p> <p>(2) 12月例会の件【1/2】</p>	夢海游 淡路島
11.4(水)	<p>11月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 青少年育成事業事業報告並びに決算報告書の件</p> <p>(2) 9月例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(3) 後期入会候補者説明会事業報告並びに決算報告書の件</p> <p>(4) 11月例会の件</p> <p>(5) 12月例会の件【一部審議】</p>	夢海游 淡路島
12.2(水)	<p>12月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 10月例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(2) 社会開発事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(3) 11月例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(4) 2015年度預かり金処分の件</p> <p>(5) 2015年度正味財産増減決算報告の件</p> <p>(6) 2016年度組織及び委員会構成の件</p> <p>(7) 2016年度出向者の件</p> <p>(8) 2016年度正味財産増減予算の件</p> <p>(9) 2016年度事業計画の件</p> <p>(10) 2016年度例会・総会日時</p>	夢海游 淡路島

月 日	内 容	場 所
2015. 1.6 (水)	(1) 2016 年度預かり金の件 (2) 1 2 月例会の件 (3) 第 5 回定時総会提出議案の件 第 13 回理事会 【審議事項】	夢海游 淡路島

5. 委員会事業報告

理事長公室

公室長 波戸 大樹



委員会スローガン

TRY NEXT

担当	三倉 克仁	公室長	波戸 大樹	副公室長	木戸 隆一郎
委員	岸本 篤人	吉井 崇行	横山 奈津紀	高塚 信幸	

総括報告

まず初めに、2015年度一般社団法人淡路青年会議所の理事として公室長の大役を任命いただきました平川理事長に心からお礼を申し上げます。

予定者段階より、一年間の行動指針となる抱負を作成し、その中で公室長として理事長・三役そして各委員会とのファシリテーター役として、LOM 全体の活性化を出来ればと考え、また、理事長公室としての役割である、理事長の秘書的業務、専務理事の補佐、諸会議の設営など青年会議諸活動の基礎的業務に対し、常に各委員会の置かれている状況を把握することで、お互いの感じ方・考え方を知り、認め合うことに繋がり組織がより強固なものになるよう行ってまいりました。結果は、全てが満足できる結果ではなく、難しさを改めて認識する一年であったかと思えます。

また、拡大活動も満足のいくものではありませんでしたが、その中で、各委員長と連携を図り活動を共にさせていただき、様々なことを学ばせていただく機会となりました。

最後になりましたが、平川理事長、三倉専務理事には様々な場面でご指導、ご鞭撻を頂き本当にありがとうございました。また、一年間サポートを頂きました木戸副公室長をはじめとする公室メンバーの皆様に感謝を申し上げ活動報告とさせていただきます。

委員会報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2014. 8. 30	淡路島観光ホテル	理事長所信・スローガンの件、議長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件	3名
2015. 1. 29	事務局	入会候補者説明会（前期）の件	2名
1. 31		入会候補者説明会（前期）の件	1名
3. 10	事務局	入会候補者説明会（前期）の件	3名
7. 13	事務局	淡路JC説明会（後期）	2名
8. 29	事務局	淡路JC説明会（後期）	1名
9. 1	事務局	淡路JC説明会（後期）	2名

事業報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2015. 3. 18	淡路島観光ホテル	入会候補者説明会（前期）	28名
9. 16	淡路島観光ホテル	淡路JC説明会（後期）	27名

例会委員会 委員長 植野 泰幸



委員会スローガン 率先垂範

担当	甚尾 篤弘	委員長	植野 泰幸	副委員長	太田 達雄
委員	村田 泰志 山形 兼一郎 大漁 みさ 田中 義晴				

総括報告

先ず初めに、一年間通じてご支援ご協力頂きましたメンバーの皆さまに深く感謝致します。本当にありがとうございました。

例会委員会では月一度メンバーが一齊に集う例会の企画・設営を行わせていただきました。その中で、例会の設営においては、椅子や机の配置に至るまでこだわりを持ち設営を行うことができました。例会の企画においては、はじめは核となるものが見えなく四苦八苦しましたが回数を重ねる毎に核となるものが確立できたと考えます。そして、この集大成としてさまざまな問題があるなか、約10年ぶりの公開例会をメンバーの皆様のご協力のもと実施することができたと考えます。

最後になりましたが、三役の皆様には様々な場面で叱咤激励を頂き本当にありがとうございました。また、一年間サポートを頂きました太田委員長をはじめとする例会委員会メンバーの皆様に感謝を申し上げ活動報告とさせていただきます。

委員会報告

年月日	場 所	内 容	出席者数
2014. 9. 25	淡路島観光ホテル	理事長所信・スローガンの件、議長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件	4名
10. 10	事務局	議長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件、	3名
11. 20	事務局	会員拡大の件、1月例会の件	3名
12. 9	事務局	会員拡大の件、1月例会の件	3名
12. 27	事務局	会員拡大の件、1月例会の件	3名
2015 1. 6	事務局	会員拡大の件 1月例会の件	3名
1. 13	事務局	会員拡大の件 4月例会の件	3名
2. 19	事務局	会員拡大の件、4月例会の件	4名
2. 26	事務局	会員拡大の件 4月例会の件	3名
3. 12	事務局	会員拡大の件 4.6月例会の件	3名
5. 14	事務局	会員拡大の件 4.6月例会の件	3名
5. 19	事務局	会員拡大の件 4.6月例会の件	3名
5. 26	事務局	会員拡大の件 4.6月例会の件	3名
6. 2	事務局	会員拡大の件 4.6月例会の件	3名
6. 4	事務局	会員拡大の件 4.6月例会の件	3名
6. 16	事務局	会員拡大の件 8・9月例会の件	4名
7. 7	事務局	会員拡大の件 8・9月例会の件	4名
8. 27	事務局	会員拡大の件 9月例会の件	4名
10. 15	事務局	会員拡大の件 9月例会の件	4名

事業報告

年月日	場 所	内 容	出席者数
2015. 1. 14	伊弉諾神宮	1月例会	正会員 44名
4. 8	洲本市文化体育館	4月例会	正会員 38名 準会員 3名
6. 10	夢海遊淡路島	6月例会	正会員 42名 準会員 1名
8. 12	洲本市文化体育館	8月例会	正会員 37名
9. 9	洲本市文化体育館	9月例会	淡路島島民 260名 正会員 46名

社会開発委員会 委員長 時枝 弘記



委員会スローガン

信念を貫き、果敢に挑む！

担当	甚尾 篤弘	委員長	時枝 弘記	副委員長	折田 修作
委員	安部 則之、 出田 裕重、 笹津 寛照、 苫屋 千賀、 萩本 雅彦、 吉田 光佑				

総括報告

まず初めに、2015年度一般社団法人淡路青年会議所の理事として、また社会開発委員会委員長という大役を任命いただきました平川理事長に心からお礼申し上げます。

今年度の事業にて、淡路島の明確な立ち位置を日本国内のみならず国際社会において示すために、予定者段階から日本遺産取得に向け動いていました。新たに創設された国の政策のため右も左もわからない中、島内三市の協力を得て申請にこぎつけたものの最終選考にもれ認定には至りませんでした。しかしそこでの経験が、島内三市関係団体を巻き込んだ「淡路島日本遺産委員会」の設立に繋がり、そして10月28日に行われた社会開発事業「HISTORY OF KUNIUMI～日本創生神話 伝承の地 体感プログラム～」に繋がりました。今事業は外国人参加者に、淡路島が誇る「はじまりの地」というアイデンティティを実際に体感いただき、その様子を発信することで、島内外に明確な付加価値を示す目的で行いました。当日は参加者が写真を取ったり SNS で発信したりと、楽しんでいる姿が見てとれ、アンケートは非常に好評なものばかりでした。この結果は淡路島の日本遺産認定に繋がるものであり、淡路島固有のアイデンティティが外国人に魅力として十分に伝わる事が確認できたことは、淡路島が今後発展するための具体的な一つの方向性を示すことができたと確信しております。

最後になりましたが、平川理事長、甚尾担当副理事長には、様々な場面で的確なご指示をいただき、他の三役関係の皆様、そしてOBの皆様には叱咤激励とアドバイスをいただき本当にありがとうございました。そして委員会メンバーの皆様には右往左往する中ずっと支えていただき、横の繋がりで公室長・委員長メンバーには多大なるご協力をいただきましたことに感謝申し上げます、活動報告とさせていただきます。

委員会報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2014. 9. 25	淡路島観光ホテル	理事長所信・スローガンの件、抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件	2名
10. 14	事務局	抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件	3名
11. 4	事務局	抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件	3名
12. 19	事務局	社会開事業の件	6名
12. 26	源平	社会開発事業の件	3名
2014. 1. 9	事務局	社会開発事業の件、拡大の件	4名
2. 19	事務局	社会開発事業の件、拡大の件	6名
2. 26	事務局	社会開発事業の件、拡大の件	4名
3. 12	事務局	社会開発事業の件、拡大の件	3名
3. 27	事務局	社会開発事業の件、拡大の件	4名
4. 16	折田建設	社会開発事業の件、拡大の件	4名
5. 19	折田建設	社会開発事業の件、拡大の件	4名
5. 26	折田建設	社会開発事業の件、拡大の件	4名
6. 11	事務局	社会開発事業の件、拡大の件	5名
6. 17	折田建設	社会開発事業の件、拡大の件	4名
6. 25	事務局	社会開発事業の件、拡大の件	4名
7. 7	折田建設	社会開発事業の件、拡大の件	6名
7. 16	事務局	社会開発事業の件、拡大の件	4名
8. 7	源平	社会開発事業の件、拡大の件	2名
8. 27	事務局	社会開発事業の件、拡大の件	4名
9. 11	事務局	社会開発事業の件、拡大の件	6名
10. 2	事務局	社会開発事業の件、拡大の件	6名
10. 9	事務局	社会開発事業の件、拡大の件	7名
10. 16	事務局	社会開発事業の件、拡大の件	4名
10. 23	事務局	社会開発事業の件、拡大の件	4名
11. 16	事務局	社会開発事業の件、拡大の件	3名

事業報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2015. 10. 28	うずの丘、沼島、伊弉諾神宮	HISTORY OF KUNIUMI～日本創生神話 伝承の地 体感プログラム～	89名
12. 9	淡路島観光ホテル	12月例会～卒業そして次代へ～	43名

青少年育成委員会 委員長 横山 泰明



委員会スローガン

「繋がり」が未来を創る！！

担当	有賀 雄一	委員長	横山 泰明	副委員長	滝本 拓之
委員	池尻 明人、川越 勇輔、高見 恵文、土井 孝浩、小川 優一				

総括報告

まず初めに、2015 年度一般社団法人淡路青年会議所の理事として青少年育成委員会の大役を任命いただきました平川理事長に心から御礼申し上げます。平川理事長の想い、そして予定者段階で作成した抱負をもとに、青少年育成委員会委員長として、淡路島の未来のために青少年の育成をするという気概を持ち、第 21 回わんぱく相撲淡路場所と、青少年育成事業である、「淡路島の魅力あるある探検隊！！」を担当させていただきました。初めての委員長で不安いっぱいでしたが、気付けば滝本副委員長をはじめ委員会メンバーや多くの JC メンバーに助けられた一年でありました。事業を実際行う中で、行動力と表現力の大切さ、そして組織運営の大切さを学ばせていただきました。様々な失敗をしてきましたが、すべて自分自身の成長に繋がっていると感じます。この一年間で得た経験を次に繋げ活かしていくことこそが、淡路島の未来に繋がると考えています。最後になりましたが、平川理事長、有賀担当副理事長には様々な場面でご指導いただきました。本当にありがとうございました。

委員会報告

年月日	場 所	内 容	出席者数
2014. 9. 25	淡路島観光ホテル	理事長所信・スローガンの件、議長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件	5名
10. 31	事務局	委員長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件	3名
11. 21	事務局	委員長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件	3名
12. 15	事務局	第21回わんぱく相撲淡路場所の件	4名
2015. 1. 5	事務局	第21回わんぱく相撲淡路場所の件、青少年育成事業の件	4名
1. 26	事務局	第21回わんぱく相撲淡路場所の件、青少年育成事業の件	5名
2. 16	事務局	第21回わんぱく相撲淡路場所の件、青少年育成事業の件	3名
2. 26	事務局	第21回わんぱく相撲淡路場所の件、青少年育成事業の件、会員拡大の件	3名
3. 25	事務局	第21回わんぱく相撲淡路場所の件、青少年育成事業の件、会員拡大の件	4名
3. 31	事務局	第21回わんぱく相撲淡路場所の件、青少年育成事業の件、会員拡大の件	5名
4. 13	事務局	第21回わんぱく相撲淡路場所の件、青少年育成事業の件、会員拡大の件	3名
4. 30	事務局	第21回わんぱく相撲淡路場所の件、青少年育成事業の件、会員拡大の件	5名
5. 7	事務局	第21回わんぱく相撲淡路場所の件、青少年育成事業の件、会員拡大の件	5名
5. 27	事務局	第21回わんぱく相撲淡路場所事業報告並びに決算報告の件、青少年育成事業の件、会員拡大の件	4名
6. 15	事務局	第21回わんぱく相撲淡路場所事業報告並びに決算報告の件、青少年育成事業の件、会員拡大の件	4名
6. 24	事務局	第21回わんぱく相撲淡路場所事業報告並びに決算報告の件、青少年育成事業の件、会員拡大の件	4名
7. 15	事務局	青少年育成事業の件、10月例会の件、会員拡大の件	3名
7. 28	事務局	青少年育成事業の件、10月例会の件、会員拡大の件	5名
8. 3	事務局	青少年育成事業の件、10月例会の件、会員拡大の件	4名
8. 7	事務局	青少年育成事業の件、10月例会の件、会員拡大の件	4名
8. 19	事務局	青少年育成事業の件、10月例会の件、会員拡大の件	5名
8. 21	事務局	青少年育成事業の件、10月例会の件、会員拡大の件	5名
9. 21	事務局	青少年育成事業報告並びに決算報告の件、10月例会の件、会員拡大の件	4名
10. 2	事務局	青少年育成事業報告並びに決算報告の件、10月例会の件、会員拡大の件	5名

事業報告

年月日	場 所	内 容	出席者数
2015. 5. 17	南あわじ市立福良小学校	第21回わんぱく相撲淡路場所	39名
8. 9	サンセットビューホテル けひの海	淡路島の魅力あるある探検隊（事業説明会・交流会）	27名
8. 23	五色文化ホール	淡路島の魅力あるある探検隊（発表会）	28名
10. 7	洲本市文化体育館	10月例会 ～討論 子どもたちの未来を考えよう～	43名

会員交流委員会 委員長 竹田 良平



委員会スローガン

一步前へ！～踏み出す先に確かな成長～

担当	有賀 雄一	委員長	竹田 良平	副委員長	藤川 龍介
委員	後藤 宏暢、松井 孝明、伊山 真司、河野 崇志				

総括報告

まず初めに、2015年度一般社団法人淡路青年会議所の理事として委員長という大義を2年目ながら任命いただきました平川理事長に心から感謝申し上げます。

予定者段階より、淡路JC会員の結束力の向上、ならびに参画することでの成長を目標に「一步前へ。踏み出す先に確かな成長」の委員会スローガンのもと、邁進してまいりました。会員交流委員会は名前の通り、いかにメンバー通しがいかにコミュニケーションの場を設け、相互的な成長を遂げることができるかというのが大義であり、優先事項でありました。我々委員会メンバーが率先して、担当事業、例会だけに留まらず、他委員会の事業・例会へ積極的に参画することで、委員会を飛び越えた交流を通じ、淡路JC全体としての成長へと寄与できたと考えています。近年、年度の浅いメンバーが増える中で、重要となってくること、それはメンバー全員が一步踏み出し、相互的な成長を図ることに他なりません。そのためには、今年度、苦楽を共にした委員会メンバーはもとより、協力的に繋がりを広げていただいた委員長の皆様、そして、これからの淡路JCを担うべき若手メンバーの皆様と共に切磋琢磨していくことが重要となりますので、今年度の活動を通して得た経験や知識を来年へ、そして、10年後、20年後と紡いでいけるよう、共にJC活動に取り組んでいく所存です。

最後になりましたが、平川理事長、有賀担当副理事長には様々な場面で叱咤激励を頂き本当にありがとうございました。また、一年間サポートを頂きました藤川副委員長をはじめとする会員交流委員会メンバーの皆様に感謝を申し上げ活動報告とさせていただきます。

委員会報告

年月日	場 所	内 容	出席者数
2014. 9. 25	淡路島観光ホテル	理事長所信・スローガンの件、委員長抱負及び事業計画の件、 上程スケジュールの件	6名
10. 10	事務局	委員長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件、	4名
10. 20	事務局	委員長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件	4名
10. 30	事務局	委員長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件 新年会の件	3名
11. 11	事務局	委員長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件 新年会の件、LOM ナイトの件	3名
11. 22	事務局	委員長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件 新年会の件	3名
12. 2	事務局	新年会の件	2名
12. 7	事務局	新年会の件	2名
12. 16	事務局	新年会の件	3名
12. 22	事務局	新年会の件	5名
12. 29	事務局	新年会の件	3名
12. 30	夢泉景	新年会の件	3名
2015. 1. 5	事務局	新年会の件	4名
1. 11	事務局	新年会の件	3名
1. 12	事務局	新年会の件	2名
1. 13	事務局	新年会の件	2名
1. 27	事務局	拡大の件、新年会決算報告の件	4名
2. 7	事務局	拡大の件、LOM ナイトの件	2名
2. 17	事務局	5月例会の件、拡大の件	3名
2. 26	事務局	5月例会の件、拡大の件会員拡大会議の件	4名
3. 17	事務局	5月例会の件	4名
3. 27	事務局	5月例会の件	3名
5. 1	事務局	5月例会の件	4名
5. 11	事務局	5月例会の件	4名
5. 12	事務局	5月例会の件	4名
5. 27	事務局	5月例会決算の件、島まつりおどり大会の件	4名
6. 8	事務局	島まつりおどり大会の件	4名
6. 9	事務局	島まつりおどり大会の件	4名
6. 26	事務局	島まつりおどり大会の件	4名
7. 9	事務局	島まつりおどり大会の件	3名
7. 23	事務局	島まつりおどり大会の件	3名
7. 31	事務局	島まつりおどり大会の件、拡大の件	5名
9. 25	事務局	島まつりおどり大会決算の件、拡大の件	4名
10. 15	事務局	家族忘年会の件、拡大の件	5名
11. 16	事務局	家族忘年会の件、拡大の件	3名

事業報告

年月日	場 所	内 容	出席者数
2015. 1. 15	夢泉景	新年会	130名
5. 18	洲本市文化体育館	5月例会～未来へ紡ごう！淡路 JC の結束力～	47名
8. 1	洲本市内	淡路島まつりおどり大会	70名

絆づくり・研修委員会 委員長 藤井 宏昌



委員会スローガン

共走共汗 ～新たなる絆を求めて～

担当	中田 勝文	委員長	藤井 宏昌	副委員長	福富 健介
委員	柴田 大介、 新家 春輝、 法月 正義、 丸尾 幸大、 長尾 亨				

総括報告

まず初めに、2015年度一般社団法人淡路青年会議所の理事として委員長という大役を任命いただきました平川理事長に心からお礼を申し上げます。

予定者段階より、これからのLOMにとって何をすることが絆をより深めていけるのかということを一年間委員会では拘り、活動をしてまいりました。理事会ウォッチングを始め、2月例会には～情熱宣言～、7月には絆づくり事業 ～集え淡路JC！！団結は力なり～を、11月例会には～共走共感の先にある光～を開催させていただきました。私は委員会メンバーにも恵まれ、それぞれを通じて個々の価値観を相互理解するとともに、心に灯った熱い情熱が次々に他へ連鎖する機会へと繋げていけたと感じております。また、企画運営を通し、何事も恐れずに取り組んでいくことで自ずと使命感を見いだすことも同時に実感させていただくこともできました。

最後になりましたが、平川理事長、中田副理事長には様々な場面で叱咤激励を頂き本当にありがとうございました。また、一年間サポートを頂きました福富副委員長をはじめとする絆づくり・研修委員会メンバーの皆様に感謝を申し上げ活動報告とさせていただきます。

委員会報告

年月日	場 所	内 容	出席者数
2014. 9. 25	淡路島観光ホテル	理事長所信・スローガンの件、委員長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件	4名
10. 10	事務局	委員長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件	5名
12. 1	事務局	委員長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件	4名
12. 12	事務局	委員長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件	4名
12. 19	事務局	2月例会の件	4名
2015. 1. 9	事務局	2月例会の件	5名
1. 21	事務局	2月例会の件	4名
1. 29	事務局	2月例会の件	4名
2. 6	事務局	2月例会の件	5名
2. 9	事務局	2月例会の件	6名
2. 24	事務局	2月例会決算の件	3名
3. 16	事務局	絆づくり事業の件	5名
3. 27	事務局	絆づくり事業の件	3名
4. 20	事務局	絆づくり事業の件	4名
4. 30	事務局	絆づくり事業の件	4名
5. 12	事務局	絆づくり事業の件	3名
5. 28	事務局	絆づくり事業の件	4名
6. 18	事務局	絆づくり事業の件	8名
6. 25	事務局	絆づくり事業の件	6名
7. 21	淡路島観光ホテル	絆づくり事業決算の件	6名
8. 17	事務局	11月例会の件	4名
8. 27	事務局	11月例会の件	5名
9. 7	事務局	11月例会の件	4名
9. 18	事務局	11月例会の件	5名
10. 2	事務局	11月例会の件	5名
10. 19	事務局	11月例会の件	6名
11. 8	事務局	11月例会の件	6名
11. 10	事務局	11月例会の件	5名
11. 14	うめ丸	11月例会決算の件	7名

事業報告

年月日	場 所	内 容	出席者数
2015. 2. 10	ホテルニューアワジ	2月例会 ～情熱宣言～	41名
7. 4	徳島県吉野川小歩危峡	絆づくり事業 ～集え淡路JC!! 団結は力なり～	26名
11. 11	洲本市文化体育館	11月例会 ～ 共走共汗の先にある光 ～	37名

総務広報委員会 委員長 三浦 義崇



委員会スローガン

有志竟成～志を共有し、明日へ繋げる～

担当	浅井 克也	委員長	三浦 義崇	副委員長	寺岡 良祐
委員	三原 聡	久米 基支	廣田 欣也		

総括報告

まず初めに 2015 年度理事メンバーとして総務広報委員会 委員長の大役を任命頂いた平川理事長に心からお礼を申し上げます。また、メンバーの皆様におかれましては今年一年間、多くの協力とご指導をいただき、誠にありがとうございました。

総務広報委員会ではホームページの管理運営、対内広報誌の発行、総会の設営、LOM 役員懇談会、3 月例会、7 月例会の企画運営を担当させていただきました。ホームページでは、多くの方に淡路 JC を知っていただけるように、動画を活用し、facebook を活用することで情報発信を行ってまいりました。また対内広報誌においては、メンバーにおける情報共有を図ると共に OB 会員の皆様に淡路 JC の活動を知って頂きたく広報を行ってまいりました。その中で毎月の例会、事業を記録し、振り返ることができるということは総務広報委員会ならではの活動だと感じ、一年間を過ごさせていただきました。また、LOM 役員懇談会では、多くのメンバーの皆様のご協力のもと、淡路 JC と兵庫ブロック協議会が互いに高め合うことのできる LOM 役員懇談会になりました。さらに、例会設営では多くの方にご負担をお願いしながらも委員会が考える例会を実現できました。

最後となりますが平川理事長、浅井副理事長には多くのご指導、ご鞭撻を賜りました。誠にありがとうございます。そして、寺岡副委員長をはじめとする総務広報委員会メンバーの皆様、委員会を盛り立てていただき、本当にありがとうございました。また、同期委員長の皆様とは共に苦勞を分かち合えたかけがえのない一年になったと感じております。以上をもちまして、活動報告とさせていただきます。

委員会報告

年月日	場 所	内 容	出席者数
2014. 9. 25	淡路島観光ホテル	スローガン、委員長抱負	4名
10. 2	事務局	スローガン、委員長抱負、ホームページの件	2名
10. 10	事務局	スローガン、委員長抱負、ホームページの件、対内広報紙発行の件、年間上程スケジュールの件	3名
10. 22	事務局	委員長抱負の件、ホームページの件、対内広報紙発刊の件、年間上程スケジュールの件	3名 3名
10. 31	事務局	委員長抱負の件、ホームページの件、対内広報誌の件	3名
12. 5	事務局	ホームページ作成の件、総合資料作成の件、LOM 役員懇談会の件、対内広報誌の件	2名
12. 22	事務局	ホームページ作成の件、総合資料作成の件、LOM 役員懇談会の件、対内広報誌の件、3月例会の件	2名
2014. 1. 13	事務局	ホームページ作成の件、第4回定時総会の件、LOM 役員懇談会の件、対内広報誌の件、3月例会の件	3名
1. 27	事務局	ホームページ作成の件、LOM 役員懇談会の件、対内広報誌の件、3月例会の件	4名
2. 5	事務局	ホームページ作成の件、LOM 役員懇談会の件、対内広報誌の件、3月例会の件	3名
2. 24	事務局	3月例会の件	3名
3. 6	事務局	3月例会の件	4名
3. 23	事務局	3月例会の件、対内広報誌の件、ホームページの件	3名
4. 20	事務局	3月例会の件、7月例会の件、ホームページ管理の件、対内広報誌の件	5名 5名
5. 15	事務局	7月例会の件、ホームページ管理の件、対内広報誌の件	2名
5. 19	事務局	7月例会の件、ホームページ管理の件、対内広報誌の件	2名
5. 28	事務局	7月例会の件、ホームページ管理の件、対内広報誌の件	2名
6. 9	事務局	7月例会の件、ホームページ管理の件、対内広報誌の件	3名
6. 24	事務局	7月例会の件、ホームページ管理の件、対内広報誌の件	2名
7. 6	事務局	7月例会の件、ホームページ管理の件、対内広報誌の件	3名
7. 21	淡路島観光ホテル	7月例会決算の件、ホームページ管理の件、対内広報誌の件	4名
8. 3		7月例会決算の件、ホームページ管理の件、対内広報誌の件	2名
8. 17		7月例会決算の件、ホームページ管理の件、対内広報誌の件	2名
9. 18		ホームページ管理の件、対内広報誌の件	2名
11. 2		ホームページ管理の件、対内広報誌の件	2名

事業報告

年月日	場 所	内 容	出席者数
2015. 2. 10	ホテルニューアワジ	LOM 役員懇談会	27名
3. 11	洲本市文化体育館	3月例会	36名
7. 25	洲本市文化体育館	7月例会	29名

6. 委員会別事業決算明細

委員会別事業決算明細(1)

2015年1月1日~12月31日

2015年度 委員会別事業決算明細

委員会名	収入の部		支出の部		収入の部		支出の部		備考
	科目	予算額	科目	予算額	科目	決算額	科目	決算額	
理事長公室	事業収入	338,000	*** **	43,200	事業収入	338,000	*** **	43,200	
			消耗品	10,800			消耗品	10,800	
			食糧費	0			食糧費	0	
			人件費	0			人件費	0	
			支払手数料	0			支払手数料	0	
			講師謝金	0			講師謝金	0	
			印刷製本費	0			印刷製本費	0	
			資料作成費	1,000			資料作成費	1,840	
			広報普及費	0			広報普及費	0	
			研修費	0			研修費	0	
			旅費交通費	0			旅費交通費	0	
			交際費	0			交際費	0	
			保険料	0			保険料	0	
			印刷製本費	324,000			印刷製本費	324,000	
		通信運搬費	0			通信運搬費	0		
		支払利息	0			支払利息	0		
		雑費	0			雑費	0		
		予備費	7,000			予備費	7,000		
	小計	338,000	小計	338,000	小計	338,000	小計	328,840	
例会	事業収入	408,000	*** **	107,000	事業収入	775,500	*** **	182,100	
			消耗品	43,200			消耗品	84,000	
			食糧費	0			食糧費	0	
			人件費	0			人件費	0	
			支払手数料	0			支払手数料	0	
			講師謝金	0			講師謝金	40,000	
			印刷製本費	0			印刷製本費	380,000	
			資料作成費	5,240			資料作成費	5,240	
			広報普及費	0			広報普及費	110,000	
			研修費	0			研修費	0	
			旅費交通費	90,000			旅費交通費	0	
			交際費	0			交際費	0	
			保険料	0			保険料	0	
			印刷製本費	0			印刷製本費	0	
		通信運搬費	248			通信運搬費	328		
		支払利息	0			支払利息	0		
		雑費	0			雑費	0		
		予備費	12,314			予備費	13,332		
	小計	408,000	小計	408,000	小計	775,500	小計	775,500	
社員関係	事業収入	1,600,000	*** **	429,000	事業収入	1,600,000	*** **	122,050	
			消耗品	88,000			消耗品	88,848	
			食糧費	100,000			食糧費	382,530	
			人件費	7,000			人件費	0	
			支払手数料	20,000			支払手数料	250,000	
			講師謝金	0			講師謝金	0	
			印刷製本費	500,000			印刷製本費	0	
			資料作成費	120,330			資料作成費	410	
			広報普及費	120,000			広報普及費	274,084	
			研修費	10,000			研修費	54,000	
			旅費交通費	100,000			旅費交通費	258,500	
			交際費	0			交際費	0	
			保険料	0			保険料	0	
			印刷製本費	0			印刷製本費	0	
		通信運搬費	8,000			通信運搬費	858		
		支払利息	0			支払利息	0		
		雑費	30,000			雑費	1,404		
		予備費	47,130			予備費	0		
	小計	1,600,000	小計	1,600,000	小計	1,600,000	小計	1,438,892	
青少年育成	事業収入	331,000	*** **	44,000	事業収入	631,000	*** **	99,542	
			消耗品	64,200			消耗品	74,200	
			食糧費	12,000			食糧費	12,000	
			人件費	0			人件費	0	
			支払手数料	0			支払手数料	0	
			講師謝金	0			講師謝金	0	
			印刷製本費	50,000			印刷製本費	0	
			資料作成費	2,050			資料作成費	51,230	
			広報普及費	112,330			広報普及費	257,880	
			研修費	0			研修費	60,000	
			旅費交通費	0			旅費交通費	0	
			交際費	0			交際費	0	
			保険料	10,000			保険料	15,000	
			印刷製本費	13,000			印刷製本費	43,000	
		通信運搬費	910			通信運搬費	920		
		支払利息	10,000			支払利息	20,000		
		雑費	0			雑費	0		
		予備費	11,880			予備費	12,870		
	小計	331,000	小計	331,000	小計	631,000	小計	631,000	

委員交流	事業収入	805,000	事業収入	805,000	事業収入	805,000	事業収入	805,000	事業収入	96,700
			195,200		167,200		1,494,000		136,384	
			消耗品	167,200		0		295,000	0	
			食糧費	0		0		168,000	0	
			人件費	0		0		0	0	
			支払手数料	130,000		130,000		0	160,000	
			講師謝金	0		0		0	3,240	
			講師謝金	18,000		18,000		0	15,000	
			資料作成費	2,000		2,000		0	1,640	
			広告費	0		0		0	1,671	
			事務費	0		0		0	0	
			経費交通費	0		0		0	0	
			交際費	0		0		0	2,138,000	
		保険料	15,550		15,550		0	11,000		
		印刷製本費	0		0		0	0		
		通信運搬費	7,239		7,239		0	5,624		
		支払利息	1,000		1,000		0	1,000		
		雑費	45,578		45,578		0	23,000		
		予備費	13,233		13,233		0	0		
	小計	505,000	小計	505,000	小計	5,483,600	小計	2,433,239		
地区・関係	事業収入	149,000	事業収入	149,000	事業収入	149,000	事業収入	149,000	事業収入	127,000
			115,600		16,200		241,280	16,200		
			消耗品	16,200		0		0		
			食糧費	0		0		0		
			人件費	0		0		0		
			レンタル料	0		0		241,280		
			支払手数料	0		0		0		
			講師謝金	5,400		5,400		0		
			講師謝金	0		0		0		
			資料作成費	2,460		2,460		0		
			広告費	0		0		0		
			事務費	0		0		0		
			経費交通費	0		0		0		
		交際費	0		0		0			
		保険料	5,040		0		0			
		印刷製本費	0		0		0			
		通信運搬費	0		0		0			
		支払利息	0		0		0			
		雑費	0		0		0			
		予備費	4,300		4,300		0			
	小計	149,000	小計	142,000	小計	143,980	小計	386,940		
総務広報	事業収入	617,000	事業収入	617,000	事業収入	617,000	事業収入	617,000	事業収入	58,900
			63,900		21,600		33,600	21,600		
			消耗品	21,600		0		0		
			食糧費	0		0		0		
			人件費	0		0		0		
			支払手数料	0		0		0		
			講師謝金	5,400		5,400		5,550		
			講師謝金	20,000		20,000		10,000		
			資料作成費	146,460		146,460		146,460		
			広告費	0		0		0		
			事務費	792		792		792		
			経費交通費	30,000		30,000		0		
			交際費	0		0		0		
		保険料	0		0		0			
		印刷製本費	312,000		312,000		312,000			
		通信運搬費	2,296		2,296		1,888			
		支払利息	0		0		0			
		雑費	0		0		432			
		予備費	14,545		14,545		0			
	小計	617,000	小計	617,000	小計	617,000	小計	669,627		
全体	事業収入	3,996,000	事業収入	4,063,500	事業収入	7,062,780	事業収入	7,062,780	事業収入	734,422
			997,900		729,222			734,422		
			消耗品	421,200		420,646		0	347,674	
			食糧費	112,000		374,530		0	473,770	
			人件費	7,000		0		0	0	
			レンタル料	0		0		241,280		
			支払手数料	160,000		380,000		430,000		
			講師謝金	19,800		50,800		14,190		
			講師謝金	738,000		388,000		325,000		
			資料作成費	280,030		208,800		164,000		
			広告費	232,880		741,944		731,246		
			事務費	10,799		114,799		59,792		
			経費交通費	220,000		288,500		306,500		
		交際費	0		0		2,138,000			
		保険料	30,590		30,590		20,000			
		印刷製本費	640,000		672,000		654,000			
		通信運搬費	18,691		11,339		9,150			
		支払利息	11,000		21,000		21,000			
		雑費	15,578		46,932		24,836			
		予備費	110,532		65,780		0			
	合計	3,996,000	合計	4,063,500	合計	7,062,780	合計	6,738,367		

委員会別事業決算明細(2)

2015年1月1日~12月31日

2015年度 理事長公室事業決算明細

委員会名	事業名称	科目	収入の部	支出の部	収入の部	支出の部	収入の部	支出の部	差額	備考	
			予算額	予算額	1次補正額	1次補正額	決算額	決算額			
理事長公室	会員名簿	事業収入	330,000		330,000		330,000				
		小計	330,000		330,000		330,000				
		会費費 費増料									
		消耗品									
		食糧費									
		人件費									
		支払手数料									
		講師関係費									
		諸謝金									
		資料作成費									
		広告普及費									
		報告書作成費									
		旅費交通費									
		交際費									
		保険料									
		印刷製本費		324,000		324,000		324,000			
		通信運搬費									
		支払負担金									
		雑費									
予備費		6,000		6,000		6,000					
小計		330,000	330,000	330,000	330,000	330,000	324,000	6,000	事業収入増減あり		
合計		330,000	330,000	330,000	330,000	330,000	324,000	6,000			
理事長公室	前期入会説明会	事業収入	23,000		23,000		23,000				
		小計	23,000		23,000		23,000				
		会費費 費増料		21,600		21,600		21,600			
		消耗品		5,400		5,400		5,400			
		食糧費									
		人件費									
		支払手数料									
		講師関係費									
		諸謝金									
		資料作成費		500		500		500	820		
		広告普及費									
		報告書作成費									
		旅費交通費									
		交際費									
		保険料									
		印刷製本費									
		通信運搬費									
		支払負担金									
		雑費									
予備費		500		500		500					
小計		23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	27,820	180	事業収入増減あり		
合計		23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	27,820	180			
理事長公室	前期入会説明会	事業収入	23,000		23,000		23,000				
		小計	23,000		23,000		23,000				
		会費費 費増料		21,600		21,600		21,600			
		消耗品		5,400		5,400		5,400			
		食糧費									
		人件費									
		支払手数料									
		講師関係費									
		諸謝金									
		資料作成費		500		500		500	820		
		広告普及費									
		報告書作成費									
		旅費交通費									
		交際費									
		保険料									
		印刷製本費									
		通信運搬費									
		支払負担金									
		雑費									
予備費		500		500		500					
小計		23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	27,820	180	事業収入増減あり		
合計		23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	27,820	180			
総合計		386,000	386,000	386,000	386,000	386,000	379,640				

2015年度 例会委員会事業決算明細

委員会名	事業名称	科目	収入の部 予算額	支出の部 予算額	収入の部 1次補正額	支出の部 1次補正額	収入の部 決算額	支出の部 決算額	差額	備考	
例会	1月例会	事業収入	55,000		55,000		55,000				
		小計	55,000		55,000		55,000				
		会費		35,000		35,000		35,000			
		消耗品		16,200		16,200		16,200			
		食糧費									
		人件費									
		支払手数料									
		講師関係費									
		雑費									
		資料作成費		1,960		1,960		1,960			
		広告普及費									
		研究会費									
		経費交通費									
		交際費									
		保険料									
	印刷製本費										
	通信運搬費										
	支払負担金										
	雑費										
	予備費		1,840		1,840						
	小計		55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	53,160	1,840	事業費に繰り出す	
	合計		55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	53,160	1,840	事業費に繰り出す	
	4月例会	事業収入	21,000		21,000		21,000				
		小計	21,000		21,000		21,000				
		会費		14,000		14,000		14,000			
		消耗品		5,400		5,400		5,400			
		食糧費									
		人件費									
		支払手数料									
		講師関係費									
		雑費									
		資料作成費		820		820		820			
		広告普及費									
		研究会費									
		経費交通費									
		交際費									
		保険料									
	印刷製本費										
	通信運搬費										
支払負担金											
雑費											
予備費		780		780							
小計		21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	20,220	780	事業費に繰り出す		
合計		21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	20,220	780	事業費に繰り出す		
6月例会	事業収入	21,000		25,500		21,000					
	小計	21,000		25,500		21,000					
	会費		14,000		21,600		21,600				
	消耗品		5,400		5,400		5,400				
	食糧費										
	人件費										
	支払手数料										
	講師関係費										
	雑費										
	資料作成費		820		820		820				
	広告普及費										
	研究会費										
	経費交通費										
	交際費										
	保険料										
印刷製本費											
通信運搬費											
支払負担金											
雑費											
予備費		760		660							
小計		21,000	21,000	25,500	25,500	21,000	27,820	680	事業費に繰り出す		
合計		21,000	21,000	25,500	25,500	21,000	27,820	680	事業費に繰り出す		

例会	8月例会	事業収入	21,000		21,000		21,000		
		小計	21,000		21,000		21,000		
		消耗費 消耗料		14,000		14,000		13,000	
		消耗品		5,400		5,400		5,400	
		食糧費							
		人件費							
		支払手数料							
		講師関係費							
		雑謝金							
		資料作成費		820		820		820	
	広告費及費								
	報告書作成費								
	旅費交通費								
	交際費								
	供食料								
	印刷製本費								
	通信運搬費								
	支払員組合								
	雑費								
	予備費		780		780				
小計		21,600		21,000		19,220			
合計	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	19,220	1,780	事業費に計上せず	
9月例会	事業収入	290,000		650,000		650,000			
	小計	290,000		650,000		650,000			
	消耗費 消耗料		30,000		97,500		123,800		
	消耗品		10,800		31,600		32,400		
	食糧費								
	人件費								
	支払手数料								
	講師関係費						5,400		
	雑謝金		150,000		40,000		300,000		
	資料作成費		820		360,000		820		
	広告費及費				820		130,000		
	報告書作成費				110,000				
	旅費交通費		90,000				50,000		
	交際費								
	供食料								
	印刷製本費								
	通信運搬費		246		328		246		
	支払員組合								
	雑費								
予備費		8,134		9,752					
小計		290,000		650,000		644,666			
合計	290,000	290,000	650,000	650,000	650,000	644,666	5,334	事業費に計上せず	
総合計	408,000	408,000	775,500	775,500	765,000	765,086			

2015年度 社会開発委員会事業決算明細

委員会名	事業名称	科目	収入の部	支出の部	収入の部	支出の部	収入の部	支出の部	差額	備考	
			予算額	予算額	1次補正額	1次補正額	決算額	決算額			
社会開発	社会開発事業	事業収入	1,500,000		1,500,000		1,500,000				
		小計	1,500,000		1,500,000		1,500,000				
		会議費 講師料		400,000		400,000			100,000		
		消耗品		30,000		30,000			43,200		
		会議費		100,000		100,000			337,530		
		人件費		7,000		7,000					
		支払手数料		30,000		30,000			250,000		
		講師関係費									
		謝礼金		500,000		500,000					
		資料作成費		120,000		120,000					
		広告普及費		120,000		120,000			345,000		
		研修費作成費		10,000		10,000			54,000		
		旅費交通費		100,000		100,000			256,500		
		交際費									
		保険料									
		印刷製本費									
		通信運搬費		8,000		8,000			690		
		支払負担金									
		雑費		30,000		30,000			1,404		
		予備費		45,000		45,000					
	小計		1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,388,890				
	合計		1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,388,890	111,110	事業費に繰り出す	
	12月例会	事業収入	100,000		100,000		100,000				
		小計	100,000		100,000		100,000				
		会議費 講師料		29,000		29,000			22,680		
		消耗品		68,000		68,000			23,446		
		会議費							25,000		
		人件費									
		支払手数料									
		講師関係費									
		謝礼金									
		資料作成費		820		820			410		
		広告普及費							28,464		
研修費作成費											
旅費交通費											
交際費											
保険料											
印刷製本費											
通信運搬費											
支払負担金											
雑費											
予備費		2,180		2,180							
小計		100,000	100,000	100,000	100,000	100,000					
合計		100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000				

2015年度 青少年育成委員会事業決算明細

委員会名	事業名称	科目	収入の部	支出の部	収入の部	支出の部	収入の部	支出の部	差額	備考	
			予算額	予算額	1次補正額	1次補正額	決算額	決算額			
青少年育成	青少年育成委員会	事業収入	110,000		110,000		110,000				
		小計	110,000		110,000		110,000				
		※事業費 経費科目									
		消耗品		13,900		13,900		3,344			
		水雑費		12,000		12,000		17,400			
		人件費									
		支払手数料									
		講師関係費									
		雑謝金									
		資料作成費		410		410		410			
		広告普及費		47,930		47,930		43,824			
		報告書作成費									
		旅費交通費									
		交際費									
		保険料		10,000		10,000		6,300			
	印刷製本費		13,000		13,000		18,000				
	通信運搬費		410		410		410				
	支払負担金		10,000		10,000		10,000				
	雑費										
	予備費		2,500		2,500						
	小計		110,000		110,000		104,693				
	合計		110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	104,693	5,312	事業費に繰り出す	
	青少年育成	青少年事業	事業収入	200,000		500,000		500,000			
			小計	200,000		500,000		500,000			
			※事業費 経費科目		30,000		30,000		52,542		
			消耗品		45,000		55,000		5,400		
			水雑費						93,940		
			人件費								
			支払手数料								
			講師関係費								
			雑謝金		50,000		50,000				
			資料作成費		820		50,000		5,320		
			広告普及費		65,000		210,000		191,697		
報告書作成費						60,000		5,000			
旅費交通費											
交際費											
保険料						5,000		3,500			
印刷製本費				30,000							
通信運搬費		500		410		328					
支払負担金						10,000					
雑費											
予備費		9,580		9,590							
小計		200,000	200,000	500,000	500,000	398,217					
合計		200,000	200,000	500,000	500,000	300,000	398,217	111,783	事業費に繰り出す		
青少年育成	10月例会	事業収入	21,000		21,000		21,000				
		小計	21,000		21,000		21,000				
		※事業費 経費科目		14,000		14,000		14,000			
		消耗品		5,400		5,400		5,400			
		水雑費									
		人件費									
		支払手数料									
		講師関係費									
		雑謝金									
		資料作成費		820		820		820			
		広告普及費									
		報告書作成費									
		旅費交通費									
		交際費									
		保険料									
印刷製本費											
通信運搬費											
支払負担金											
雑費											
予備費		790		790							
小計		21,000	21,000	21,000	21,000	20,220					
合計		21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	20,220	780	事業費に繰り出す		
総合計			331,000	331,000	631,000	631,000	631,000	513,125			

2015年度 会員交流委員会事業決算明細

委員会名	事業名称	科目	収入の部 予算額	支出の部 予算額	収入の部 1次補正額	支出の部 1次補正額	収入の部 決算額	支出の部 決算額	差額	備考	
会員交流	新年会	事業収入	250,000		250,000		250,000				
		登録料					1,625,000				
		小計	250,000		250,000		1,945,000				
		会費費 費材料		43,200		43,200		43,200			
		消耗品		141,800		141,800		106,934			
		食糧費									
		人件費									
		支払手数料		30,000		30,000		50,000			
		講師関係費									
		謝礼金									
		資料作成費									
		広告普及費						1,671			
		報告書作成費									
		旅費交通費									
		交際費						1,895,000			
		保険料									
		印刷製本費									
		通信運搬費		6,739		6,739		3,050			
	支払負担金										
	雑費		21,578		21,578						
	予備費		6,663		6,663						
	小計		250,000	250,000	250,000	250,000	1,931,905				
	合計		250,000	250,000	250,000	250,000	1,945,000	1,931,905	13,095	事業費に繰り越す	
	5月例会	事業収入	66,000		66,000		66,000				
		小計	66,000		66,000		66,000				
		会費費 費材料		32,000		32,000		32,000			
		消耗品		3,400		3,400		3,400			
		食糧費									
		人件費									
		支払手数料									
		講師関係費						3,240			
		謝礼金		18,000		18,000		18,000			
		資料作成費		1,000		1,000		820			
		広告普及費									
		報告書作成費									
		旅費交通費									
交際費											
保険料			9,000		9,000		5,000				
印刷製本費											
通信運搬費							52				
支払負担金											
雑費											
予備費		600		600							
小計		66,000	66,000	66,000	66,000	61,542					
合計		66,000	66,000	66,000	66,000	66,000	61,542	4,458	事業費に繰り越す		
.....	事業収入	189,000		189,000		189,000					
	登録料					295,000					
	登録料					168,000					
	小計	189,000		189,000		652,000					
	会費費 費材料		30,000		30,000		21,800				
	消耗品		20,000		20,000		24,000				
	食糧費										
	人件費										
	支払手数料		100,000		100,000		100,000				
	講師関係費										
	謝礼金										
	資料作成費		1,000		1,000		820				
	広告普及費										
	報告書作成費										
	旅費交通費										
	交際費						463,000				
	保険料		6,550		6,550		6,000				
	印刷製本費										
通信運搬費		490		490		492					
支払負担金		1,000		1,000		1,000					
雑費		24,000		24,000		23,000					
予備費		3,970		3,970							
小計		189,000	189,000	189,000	189,000	639,812					
合計		189,000	189,000	189,000	189,000	652,000	639,812	12,188	事業費に繰り越す		

2015年度 絆づくり・研修委員会事業決算明細

委員会名	事業名称	科目	収入の部	支出の部	収入の部	支出の部	収入の部	支出の部	差額	備考		
			予算額	予算額	1次補正額	1次補正額	決算額	決算額				
絆づくり・研修	2月例会	事業収入	34,000		34,000		34,000					
		小計	34,000		34,000		34,000					
		会議費・雑費		21,600		21,600		27,000				
		消耗品		5,400		5,400		5,400				
		食糧費										
		人件費										
		支払手数料										
		講師関係費		5,400		5,400						
		諸謝金										
		資料作成費		820		820		820				
		広告普及費										
		報告書作成費										
		旅費交通費										
		交際費										
	保険料											
	印刷製本費											
	通信運搬費											
	支払負担金											
	雑費											
	予備費		780		780							
	小計			34,000		34,000		33,220				
	合計		34,000	34,000	34,000	34,000	34,000	33,220	780	事業費に繰り戻す		
	絆づくり・研修	研修事業	事業収入	94,000		94,000		94,000				
			登録料					241,280				
			小計	94,000		94,000		335,280				
			会議費・雑費		80,000		80,000		86,000			
			消耗品		5,400		5,400		5,400			
			食糧費									
			レンタル料						241,280			
			人件費									
			支払手数料									
			講師関係費									
			諸謝金									
			資料作成費		820		820		820			
			広告普及費									
			報告書作成費									
旅費交通費												
交際費												
保険料		5,040		5,040								
印刷製本費												
通信運搬費												
支払負担金												
雑費												
予備費		2,740		2,740								
小計			94,000		94,000		333,500					
合計		94,000	94,000	94,000	94,000	335,280	333,500	1,780	事業費に繰り戻す			
絆づくり・研修	11月例会	事業収入	21,000		21,000		21,000					
		小計	21,000		21,000		21,000					
		会議費・雑費		14,000		14,000		14,000				
		消耗品		5,400		5,400		5,400				
		食糧費										
		人件費										
		支払手数料										
		講師関係費										
		諸謝金										
		資料作成費		820		820		820				
		広告普及費										
		報告書作成費										
		旅費交通費										
		交際費										
保険料												
印刷製本費												
通信運搬費												
支払負担金												
雑費												
予備費		780		780								
小計			21,000		21,000		20,220					
合計		21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	20,220	780	事業費に繰り戻す			
		総合計	149,000	149,000	149,000	149,000	390,280	386,940				

2015年度 総務広報委員会事業決算明細

委員会名	事業名称	科目	収入の部	支出の部	収入の部	支出の部	収入の部	支出の部	差額	備考	
			予算額	予算額	1次補正額	1次補正額	決算額	決算額			
総務広報	広報誌	事業収入	320,000		320,000		320,000				
		小計	320,000		320,000		320,000				
		会議費 賃借料									
		消耗品							8,000		
		食糧費									
		人件費									
		支払手数料									
		講師関係費									
		謝礼金									
		資料作成費									
		広告普及費									
		報告書作成費									
		旅費交通費									
		交際費									
		保険料									
		印刷製本費		312,000		312,000		312,000		312,000	
		通信運搬費									
		支払負担金									
	雑費										
	予備費		8,000		8,000		8,000				
	小計		320,000	320,000	320,000	320,000	320,000	320,000			
	合計		320,000	320,000	320,000	320,000	320,000	320,000			
	ホームページ	事業収入	148,000		148,000		148,000				
		小計	148,000		148,000		148,000				
		会議費 賃借料									
		消耗品							4,000		
		食糧費									
		人件費									
		支払手数料									
		講師関係費									
		謝礼金									
		資料作成費		144,000		144,000		144,000		144,000	
		広告普及費									
		報告書作成費									
		旅費交通費									
		交際費									
		保険料									
		印刷製本費									
		通信運搬費									
支払負担金											
雑費											
予備費		4,000		4,000		4,000					
小計		148,000	148,000	148,000	148,000	148,000	148,000				
合計		148,000	148,000	148,000	148,000	148,000	148,000				
総合資料	事業収入	1,000		1,000		1,000					
	小計	1,000		1,000		1,000					
	会議費 賃借料										
	消耗品										
	食糧費										
	人件費										
	支払手数料										
	講師関係費										
	謝礼金										
	資料作成費										
	広告普及費										
	報告書作成費		799		799		799		799		
	旅費交通費										
交際費											
保険料											
印刷製本費											
通信運搬費											
支払負担金											
雑費											
予備費		201		201		201					
小計		1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	799				
合計		1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	799	201	※実数に繰り出す		

總務広報	10月役員懇話会	事業収入	47,000		47,000		47,000			
		小計	47,000		47,000		47,000			
		会議費 謝儀料		32,400		32,400		32,400		
		消耗品		10,800		10,800		10,800		
		食糧費								
		人件費								
		支払手数料								
		講師関係費								
		諸謝金								
		資料作成費		820		820		820		
		広告普及費								
		報告書作成費								
		旅費交通費								
		交際費								
		保険料								
	印刷製本費									
	通信運搬費		2,050		2,050		1,558			
	支払負担金									
	雑費									
	予備費		930		930					
	小計		47,000		47,000		45,578			
	合計		47,000	47,000	47,000	47,000	45,578	1,422	事業費に繰り戻す	
	3月例会	事業収入	80,000		80,000		80,000			
		小計	80,000		80,000		80,000			
		会議費 謝儀料		17,500		17,500		16,500		
		消耗品		5,400		5,400		5,400		
		食糧費								
		人件費								
		支払手数料								
		講師関係費		5,400		5,400		5,550		
		諸謝金		20,000		20,000		10,000		
		資料作成費		820		820		820		
		広告普及費								
報告書作成費										
旅費交通費			30,000		30,000					
交際費										
保険料										
印刷製本費										
通信運搬費		246		246		328				
支払負担金										
雑費							432			
予備費		634		634						
小計		80,000		80,000		39,030				
合計		80,000	80,000	80,000	80,000	39,030	40,970	事業費に繰り戻す		
7月例会	事業収入	21,000		21,000		21,000				
	小計	21,000		21,000		21,000				
	会議費 謝儀料		14,000		14,000		10,000			
	消耗品		5,400		5,400		5,400			
	食糧費									
	人件費									
	支払手数料									
	講師関係費									
	諸謝金									
	資料作成費		820		820		820			
	広告普及費									
	報告書作成費									
	旅費交通費									
	交際費									
	保険料									
印刷製本費										
通信運搬費										
支払負担金										
雑費										
予備費		780		780						
小計		21,000		21,000		16,220				
合計		21,000	21,000	21,000	21,000	16,220	4,780	事業費に繰り戻す		
総合計		617,000	617,000	617,000	617,000	569,627				

7. 直前理事長報告

直前理事長 原田 啓行



青年会議所はそれぞれの立場で成長の機会があるといわれていますが、直前理事長となった本年もまさにそのことを痛感する一年となったように思います。平川理事長の応援団長としてバックアップすることに努める中でも様々な機会を見つけることができました。JCの在籍年数が長ければ長い程、さまざまな役職の経験ができる可能性があるわけですが、それぞれの立場によって「あり方」が違います。その違いを経験していくことで、組織全体が見えてくるようになります。またそれだけでなく、与えられた立場を演じきることにより、自分以外の立場の人の気持ちがわかるようになり、つまり、人そのものを大切にすることが出来るようになるものと思っています。それがしっかりできていたかどうか、私

自身、甚だ疑問に思っている部分も 無きにしもあらずですが、気づきを頂けたことに感謝すると同時に、そのことを皆様方に強くお伝えしたいと思います。JC活動で得たことをJCの中だけで終わらせないようにしましょう。JC活動も、仕事も、家庭も、遊びも、すべて根っこの部分で繋がっています。その同心円状の真ん中に、自分の生き様、いわゆる自分の哲学があるのだらうと思います。そのような気概をもって「淡路はひとつ」を想い、「明るい豊かな淡路島づくり」に励んでいただき、今よりもさらに素晴らしい組織を目指していただき ますよう切にお願い申し上げます。

8. 出 向 報 告

公益社団法人日本青年会議所

J Cプログラム実践委員会

委員 甚尾 篤弘



本年度、公益社団法人日本青年会議所 JC プログラム実践委員会へ出向させていただきました。主な担いとして、LOM 支援をしていく委員会となり、各種セミナー・プログラムの管理、運営を行ってきました。昨今、全国的に若手人財が増える傾向がある中、全国各 LOM より多くの依頼があり開催してきましたが、若手人財が増えることはとてもいいことと感じた半面、育成していくことも大変であり重要なことだと感じさせていただきました。当委員会へは 2 度目の出向となりましたが、委員長が変われば委員会の色も変わるものだった一年でした。一年間ご支援いただきありがとうございました。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2014. 12. 23	東京都千代田区	予定者委員会
2015. 1. 23	京都府京都市	第 1 回委員会(京都会議)
2015. 2. 28	宮崎県宮崎市	第 2 回委員会
2015. 3. 28	愛媛県松山市	第 3 回委員会
2015. 4. 25	青森県弘前市	第 4 回委員会
2015. 5. 30	大阪府枚方市	第 5 回委員会
2015. 6. 27	福井県福井市	第 6 回委員会
2015. 7. 17	神奈川県横浜市	第 7 回委員会(サマーコンファレンス)
2015. 9. 26	青森県八戸市	第 8 回委員会(全国大会)
2015. 10. 25	北海道札幌市	第 9 回委員会
2015. 11. 6	石川県金沢市	第 10 回委員会(世界会議)
2015. 12. 11	愛知県江南市	第 11 回委員会

公益社団法人日本青年会議所

地域再興会議

委員 吉井 崇行



本年度、公益社団法人日本青年会議所 地域グループ地域再興会議に出向させていただきました。会議体では地域の再興に繋がる施策を多数取り組みました。その中で、私は日本JCの先を見据えた新たな試みである「滞在型観光業パッケージの構築と発信」に携わらせていただきました。インバウンドに関する全国の先進事例を調査研究の中で知るとともに、人口減少に直面する日本社会において「JCだから出来ること」は何か、そして、これからのまちづくりで必要なことを改めて考える機会となりました。また、全国各地のメンバーと出会え、同じ目標に向かって一緒に汗をかいたことで、気心通じ合う友ができました。今後この経験をLOMに伝えて参りたいと考えます。このような機会を与えてくださりましたこと、心より感謝いたしております。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2015. 1. 23 -1. 24	国立京都国際会館	第1回会議・京都会議
2015. 3. 1	東京JC会館	第2回会議
2015. 3. 28 -3. 29	武雄市文化会館	第3回会議・エクスカーショ
2015. 5. 30 -5. 31	NLC心斎橋ホール	第5回会議・エクスカーショ
2015. 6. 17	洲本市文化体育館	滞在型観光業パッケージ説明会（淡路JC）
2015. 9. 18	下市町交流センター	滞在型観光業パッケージ説明会（吉野JC他）
2015. 7. 18 -7. 19	パシフィコ横浜	第7回会議・サマコン
2015. 10. 31	相模原市立産業会館	第10回会議

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区協議会
地域活力推進委員会

委員 川越 勇輔



公益社団法人日本青年会議所 近畿地区協議会 地域活力推進委員会に出向させていただきました。当委員会は、地域の魅力発信、拡大業務、ホームページの管理・運営など幅広い活動をして参りました。近畿地区という広い地域の中で多くの仲間ができ、また楽しく活動させていただきました。このような機会を与えて頂いた事に感謝しまして、報告と致します。

出 向 記 録

年月日	場 所	内 容
2015. 1. 17	京都	第1回委員会

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
書 記

藤川 龍介



本年度兵庫ブロック協議会へ書記団として出向させて頂きました。各地で行われる会議の設営、進行の補助、議事録の作成など、兵庫ブロック協議会の裏方として一年間務めて参りました。兵庫各地から集まったメンバーで執り行われる会議・活動に一員として参加させていただけたことは大変貴重な機会となり、多くの学びや気づき、そして何より繋がりを得ることができました。機会

を与えていただいた事に感謝申し上げ、出向報告と致します。

出 向 記 録

年月日	場 所	内 容
2015. 1. 17	西宮神社	第1回正副会長会議・役員会議
2015. 2. 8	神戸ポートピアホテル	第1回会員会議所会議
2015. 4. 25	猪名川町社会福祉会館	第3回会員会議所会議
2015. 5. 23	ホテルキャッスルプラザ	第7回正副会長会議・役員会議
2015. 6. 5	加古川プラザホテル	LOM 役員懇談会 加古川
2015. 7. 5	赤穂海浜公園	JC カップ
2015. 7. 10	尼崎商工会議所	第10回正副会長会議・役員会議
2015. 7. 10	尼崎商工会議所	第5回会員会議所会議
2015. 8. 30	加古川	第48回ブロック大会加古川大会
2015. 11. 14	佐津地区公民館	第13回正副会長会議・役員会議
2015. 11. 23	神戸ポートピアホテル	第7回会員会議所会議
2015. 12. 12	うめ丸	最終役員会

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
日本 JC 連携推進会議

委員 中田 勝文



この度、日本 JC 連携推進会議に出向し、会頭座談会の設営や憲法事業、兵庫県知事との懇談会の企画・設営の機会をいただき、あらためて気づくことが多く大変勉強になりました。経験豊富なメンバーが集まっている会議ということもあり、細部までこだわった積極的な意見が飛び交い、自分自身も刺激を受けるとともに得るものも沢山ありました。この経験を LOM に活かし、今後の JC 活動を行っていきます。最後に理事長を含めお世話になった方々、一年間ありがとうございました。

出 向 記 録

年月日	場 所	内 容
2014.11.16	神戸ポートピアホテル	第 1 回委員会
2015.1.14	人丸花壇	第 2 回委員会
2015.2.8.	神戸ポートピアホテル	第 3 回委員会
2015.3.18	柏原住民センター	第 4 回委員会
2015.4.18	垂水勤労市民センター	第 5 回委員会
2015.5.2	垂水勤労市民センター	第 6 回委員会
2015.6.13	川西商工会館	第 7 回委員会
2015.6.29	兵庫県公館	第 8 回委員会
2015.8.30	加古川市役所前広場	第 9 回委員会
2015.11.22	赤のれん	第 10 回委員会

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
兵庫未来創造委員会

委員 横山 泰明



本年度、近畿地区兵庫ブロック協議会兵庫未来創造委員会 に出向させていただきました。委員会として青少年事業の事例発表会、JC カップ、防災ネットワークという 3 つの事業を行いました。目木委員長のもと 3 つの事業に参加させていただきました。その中でも兵庫県各地区の小学生を対象とした JC カップはサッカーというスポーツを通じて、子供たちが地域に夢と希望をもたらす人材へと成長し、大会を通じて地域間の交流を行うことで各地域の魅力を広く発信し、自立自活した地域を創造すると共に、次代を担う子供たちが、名蹴会が掲げるグッドルーザーの精神（勝っても負けても相手を思いやれる大きな心と強い精神力を身に付ける）を育くむ機会を創出しました。子どもたちにこのような体験の場を与えることができたことは 本当によい経験になりました。この経験を LOM で活かしたいと思います。最後になりましたが 1 年間出向させていただいたことに感謝しております。ありがとうございました。

年 月 日	場 所	内 容
2015. 2. 8	神戸ポートピアホテル	第 1 回委員会
2015. 3. 14	城西公民館	第 2 回委員会
2015. 4. 18	人と防災未来センター	第 3 回委員会
2015. 4. 28	加古川商工会議所会館	第 4 回委員会
2015. 5. 30	西脇小学校	第 5 回委員会
2015. 6. 20	川西文化会館	第 6 回委員会
2015. 7. 30	加古川商工会議所会館	第 7 回委員会
2015. 10. 3	赤のれん	第 8 回委員会

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫アカデミー委員会

委員 竹田 良平



本年度、公益社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会兵庫アカデミー委員会に出向させていただきました。奥委員長のもと、事業・委員会を通じ、JC活動の基本や考え、活動について多くの学びを得る事ができました。しかしながら、LOM事業や例会と重なる日も多く、公欠となることもあり、委員長にはご迷惑をおかけした場面も多々ありましたが、JC活動における大きな気づきを与えていただいたこと深く感謝しております。今後この経験をLOMに伝えていきたいと考えます。このような機会を与えてくださり本当にありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫アカデミー委員会

委員 滝本 拓之



本年度、公益社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会アカデミー委員会に出向させて頂きました。奥委員長の元、様々な経験した事のない事業に参加させて頂きました。そして各LOMの多くの方々と出会い・共に学び・事業を作り上げる事で多くの学びを得る事ができました。この出向させて頂きました1年間での学びや気づきを、今後の活動して行く上で活用していきたいと思いません。このような機会を与えて頂きありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫アカデミー委員会

委員 折田 修作



本年度、公益社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会アカデミー委員会に出向させていただきました。出向する中で、多くの方々と出会い絆を深めることができました。特に同じLOMの竹田さんと滝本君とは、深く関わる事ができました。このような機会を与えてくださり本当にありがとうございました。

年月日	場 所	内 容
2014. 11. 16	神戸市産業振興センター	第1回合同委員長予定者会議
2015. 1. 18	西宮市商工会議所	第2回アカデミー委員会
2015. 2. 8	神戸ポートピアホテル	第2回合同委員長会議
2015. 2. 12	ANAクラウンプラザホテル	公開委員会（拡大セミナー）
2015. 3. 14	尼崎商工会議所	第3回アカデミー委員会
2015. 5. 17	神戸市立御影公会堂	第1回拡大フォーラム
2015. 6. 7	赤花鬼子母神日蓮宗 法華寺	第1回アカデミー事業
2015. 7. 26	龍野経済交流センター	第4回アカデミー委員会
2015. 9. 21	兵庫栄養製菓調理専門学校	第2回アカデミー事業

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

JC 運動発信委員会

委員 三浦 義崇



本年度、公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会 JC 運動発信委員会に出向させていただきました。委員会ではホームページ等での JC 運動の発信及び京都会議、サマーコンファレンスなどのブロックナイトの設営、近畿地区大会・全国大会でのブース出展を主な事業として実施いたしました。委員会では、加古川 JC の森田委員長をはじめ、配属になった小委員会の副委員長である小野加東 JC の藤本副委員長など兵庫県内の多くの仲間と出会うことのできる機会をいただきました。どのようなことをしたかよりも誰としたのかということが記憶に残る経験をさせていただきました。最後になりますが、このような出向の機会をいただきましたことに感謝を申し上げ、出向者報告とさせていただきます。

出 向 記 録

年月日	場 所	内 容
2014. 11. 16	神戸市産業振興センター	第 1 回予定者委員会
2014. 12. 4	加古川商工会議所会館	第 2 回予定者委員会
2015. 1. 18	加古川商工会議所会館	第 1 回委員会
2015. 1. 24	京都日航プリンスホテル	京都会議ブロックナイト
2015. 2. 8	ポートピアホテル	第 2 回委員会
2015. 2. 28	滝寺荘	第 3 回委員会
2015. 4. 4	尼崎市中小企業センター	第 4 回委員会
2015. 5. 9	平和園	第 5 回委員会
2015. 6. 12	猪名川町立公民館	第 6 回委員会
2015. 7. 4	たつの市総合文化会館アクアホール	第 7 回委員会
2015. 7. 11	草津 烏丸半島	地区大会 草津大会 ブース出展
2015. 8. 8	加古川市民会館	第 8 回委員会
2015. 8. 29	加古川市民会館	ブロック大会リハーサル
2015. 8. 30	加古川市民会館	ブロック大会加古川大会褒賞事業
2015. 9. 12	西宮青年会議所事務局	第 9 回委員会
2015. 9. 25	八戸市長根公園	全国大会 八戸大会 ブース出展
2015. 10. 17	加古川商工会議所会館	第 10 回委員会

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

ブロック大会運営委員会

委員 藤井 宏昌



本年度、公益社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会ブロック大会運営委員会に出向させていただきました。上田委員長のもと、ステージイベントの担当としての設営や運営手法について多くのことを学び、また多くの友人を作ることができました。大会当日の来場者は12,000人を超え、淡路JCからも多くのメンバーが参加していただき、大会は大成功に終わることができました。この経験を活かして今後の

LOM活動に邁進してまいります。このような機会を与えてくださり本当にありがとうございました。

出 向 記 録

年月日	場 所	内 容
2014. 11. 16	神戸ポートピアホテル	予定者委員会
2015. 1. 12	加古川市民会館	第1回委員会
2015. 2. 8	神戸ポートピアホテル	第2回委員会
2015. 3. 14	香見町立ジオパークと海の文化会館	第3回委員会
2015. 4. 18	西宮商工会館	第4回委員会
2015. 5. 16	小野加東 料理旅館滝寺荘	第5回委員会
2015. 6. 6	三木市役所	第6回委員会
2015. 7. 4	加古川市民会館	第7回委員会
2015. 8. 8	加古川市民会館	第8回委員会
2015. 8. 29	加古川市民会館	ブロック大会加古川大会リハーサル
2015. 8. 30	加古川市民会館	ブロック大会加古川大会
2015. 9. 12	香住 三田浜海水浴場	第9回委員会
2015. 10. 3	豊岡 西村屋 ホテル招月庭	第10回委員会
2015. 11. 28	アステ川西	第11回委員会

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

財務規則審査会議

委員 植野 泰幸



本年度、公益社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会財務審査会議に出向させていただきました。財務審査会議では、ブロックの事業における議案書を会員会議所までに事前チェックする大切な役割を担っておりました。一年間を通じて細かな部分まで考え、物事を見る目を養う機会になったと考えます。今後この経験を活かし、JC活動へ取り組んでいきたいと考えます。最後になりますが、このような機会を与えてくださったメンバーの皆様には感謝したいと考えます。本当にありがとうございました。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2014. 11. 16	神戸ポートピアホテル	予定者委員会
2015. 1. 10	平和園	第1回委員会
2015. 2. 3	尼崎青年会議所 事務局	第2回委員会
2015. 2. 26	神戸青年会議所 事務局	第3回委員会
2015. 4. 1	尼崎青年会議所 事務局	第4回委員会
2015. 5. 10	神戸青年会議所 事務局	第5回委員会
2015. 6. 23	メリケンパークオリエンタルホテル	第6回委員会
2015. 7. 15	神戸青年会議所 事務局	第7回委員会
2015. 8. 12	神戸青年会議所 事務局	第8回委員会
2015. 10. 2	尼崎青年会議所 事務局	第9回委員会
2015. 11. 9	神戸青年会議所 事務局	第10回委員会

9. 監 事 報 告

監事 原田 啓行 池澄 泰彦



本年、監事という役職をいただき、各事業が目的に沿ってなされているか、業務及び財産の状況を責任をもって確認させていただきました。また、各会議においては今までの経験を可能な限り皆様にお伝えするとともに、それぞれのキャラクターに応じた角度から活動を拝見し、意見を述べさせていただきました。

一般社団法人淡路青年会議所のメンバーが何事にも真剣に挑戦し、淡路島の未来のために邁進して頂きますよう祈念申し上げ、監事報告とさせていただきます。

10. 会 員 動 向

1. 2014 年度末会員数

正会員 54名 特別会員 289名 準会員 7名

2. 2015 年度入会者

新入会者名	推 薦 者		
伊山 真司	平川 智己	有賀 雄一	植野 泰幸
小川 優一	平川 智己	有賀 雄一	横山 泰明
大漁 みさ	池澄 泰彦	横山 泰明	村田 泰志
萩本 雅彦	時枝 弘記	川越 勇輔	池澄 泰彦
松井 孝明	川越 勇輔	時枝 弘記	平川 智己
丸尾 幸大	川越 勇輔	時枝 弘記	寺岡 良祐
横山 奈津紀	川越 勇輔	時枝 弘記	横山 泰明
苫屋 千賀	時枝 弘記	川越 勇輔	植野 泰幸
田中 康晴	横山 泰明	時枝 弘記	波戸 大樹
高塚 信幸	竹田 良平	波戸 大樹	藤井 宏昌
長尾 亨	藤井 宏昌	植野 泰幸	時枝 弘記

3. 2014 年度会員数

正会員 54名 特別会員 297名

4. 2013 年度退会者

濱田 眞輔

5. 2013 年度休会者

なし

6. 2015 年度物故会員

久米 皓資

7. 2015 年度除名者

なし

8. 2015 年度末会員数

正会員 53名 特別会員 296名 準会員 6名

9. 2015 年度卒業会員

12名

浅井 克也 安部 則行 有賀 雄一 太田 達雄 折田 修作
 河野 崇志 出田 裕重 土井 孝浩 原田 啓行 三倉 克仁
 三原 聡

10. 2015 年度役員選考委員

原田 啓行 平川 智己 中田 勝文 池澄 泰彦 時枝 弘記
 竹田 良平 三浦 義崇

11. 2015 年度 一般社団法人淡路青年会議所

役員名簿

【理事長】	平川 智己
【直前理事長兼監事】	原田 啓行
【監事】	池澄 泰彦
【副理事長】	有賀 雄一
	浅井 克也
	中田 勝文
	甚尾 篤弘
【専務理事】	三倉 克仁
【出向理事】	川越 勇輔
	吉井 崇行
【理事】	植野 泰幸
	竹田 良平
	時枝 弘記
	波戸 大樹
	藤井 宏昌
	三浦 義崇
	横山 泰明

12. 出向者一覧

公益社団法人日本青年会議所

出 向 先	役 職	出向者氏名
JC プログラム実践委員会	委 員	甚尾 篤弘
地域再興会議	委 員	吉井 崇行

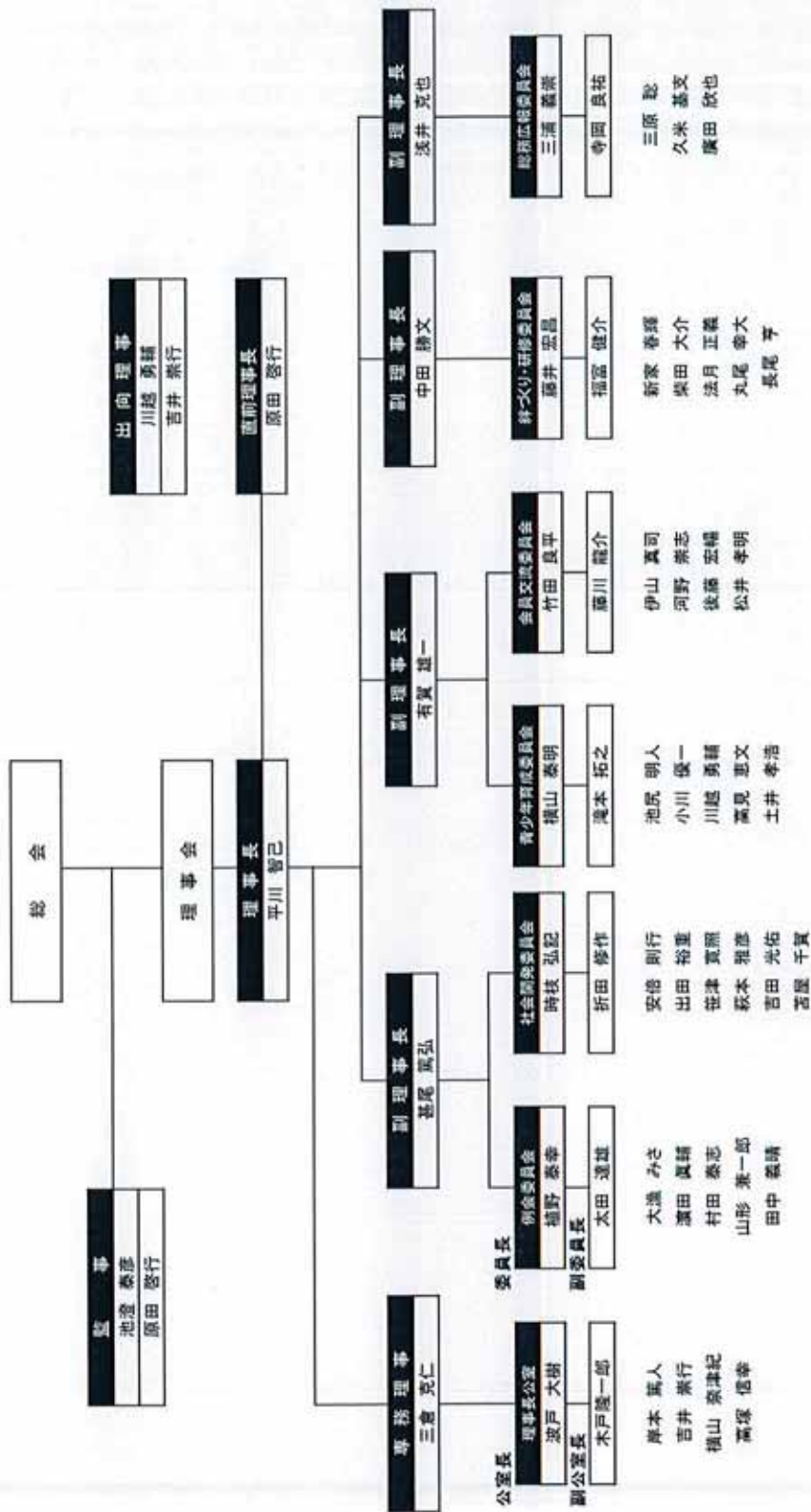
公益社団法人日本青年会議所 近畿地区協議会

出 向 先	役 職	出向者氏名
地域活力推進委員会	委 員	川越 勇輔

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

出 向 先	役 職	出向者氏名
	書 記	藤川 龍介
日本JC連携推進会議	委 員	中田 勝文
兵庫未来創造委員会	委 員	横山 泰明
兵庫アカデミー委員会	委 員	竹田 良平
兵庫アカデミー委員会	委 員	滝本 拓之
兵庫アカデミー委員会	委 員	折田 修作
JC運動発信委員会	委 員	三浦 義崇
ブロック大会運営委員会	委 員	藤井 宏昌
財務規則審査会議	委 員	植野 泰彦

13. 組織及び委員会構成



2015年 褒賞

褒賞委員会

平川智己 理事長	原田 啓行 直前理事長
池澄 泰彦 監事	有賀 雄一 副理事長
浅井 克也 副理事長	中田 勝文 副理事長
甚尾 篤弘 副理事長	三倉 克仁 専務理事

- | | |
|-------------|--|
| 1. 最優秀委員会賞 | 会員交流委員会 |
| 2. 優秀委員会賞 | 例会委員会 |
| 3. 最優秀事業賞 | HISTORY OF KUNIUMI ～日本創生神話 伝承の地 体感プログラム～ |
| 4. 優秀事業賞 | 淡路島の魅力あるある探検隊！！ |
| 5. 最優秀会員賞 | 滝本 拓之 |
| 6. 優秀会員賞 | 太田 達雄 |
| 7. 最優秀新会員賞 | 伊山 真司 |
| 8. 優秀新会員賞 | 小川 優一 |
| 9. LOM 功労賞 | 理事長公室 |
| 10. LOM 奨励賞 | 絆づくり・研修委員会 |
| 11. 努力賞 | 総務広報委員会 |
| 12. 例会出席奨励賞 | |

平川 智己	原田 啓行	池澄 泰彦	有賀 雄一
浅井 克也	中田 勝文	三倉 克仁	波戸 大樹
吉井 崇行	植野 泰幸	太田 達雄	時枝 弘記
折田 修作	横山 泰明	滝本 拓之	川越 勇輔
小川 優一	竹田 良平	藤井 宏昌	福富 健介
寺岡 良祐			

- | | |
|------------|-------------------------|
| 13. 特別功労賞 | 原田 啓行 |
| 14. 卒業生感謝状 | 浅井 克也 安部 則行 有賀 雄一 太田 達雄 |
| | 折田 修作 河野 崇志 出田 裕重 土井 孝浩 |
| | 原田 啓行 三倉 克仁 三原 聡 山形 兼一郎 |

15. 決算報告

貸借対照表

平成27年12月31日 現在

一般社団法人淡路青年会議所

(単位：円)

科 目	当年度(第3期)	前年度(第2期)	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,633,382	8,093,411	△ 460,029
流動資産合計	7,633,382	8,093,411	△ 460,029
2. 固定資産			
(1)基本財産	0	0	0
基本財産合計	0	0	0
(2)特定財産	0	0	0
特定財産合計	0	0	0
(3)その他固定資産			
什器備品	143,397	232,862	△ 89,465
有価証券	10,000	10,000	0
敷金	300,000	300,000	0
その他固定資産合計	453,397	542,862	△ 89,465
資 産 合 計	8,086,779	8,636,273	△ 549,494
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計	0	0	0
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負 債 合 計	0	0	0
III 正味財産の部			0
1. 指定正味財産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	8,086,779	8,636,273	△ 549,494
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定財産への充当額)	0	0	0
一般正味財産合計	8,086,779	8,636,273	△ 549,494
正味財産合計	8,086,779	8,636,273	△ 549,494
負債及び正味財産合計	8,086,779	8,636,273	△ 549,494

正味財産増減計算書（総括表）

第3期 平成27年1月1日～平成27年12月31日

一般社団法人淡路青年会議所

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①受取入会金	0	250,000	△ 250,000
入会金	0	250,000	△ 250,000
②受取会費	7,770,000	7,990,000	△ 220,000
正会員受取会費	7,440,000	7,840,000	△ 400,000
その他受取会費	330,000	150,000	180,000
③事業収益	2,629,280	2,253,000	376,280
受託事業収益	0	0	0
登録料	2,399,280	1,838,000	561,280
その他事業収益	230,000	415,000	△ 185,000
④受取負担金	0	0	0
⑤受取寄付金	480,000	300,000	180,000
寄付金	480,000	300,000	180,000
⑥雑収益	13,520	13,124	396
受取利息	1,627	1,448	179
受取配当金	500	500	0
雑収益	11,393	11,176	217
経常収益計	10,892,800	10,806,124	86,676
(2) 経常費用			
①事業費			
給料手当	277,100	232,328	44,772
福利厚生費	36,452	30,202	6,250
会場費、賃借料	1,055,785	766,430	289,355
消耗品費	474,103	452,805	21,298
レンタル料	241,280	0	241,280
食糧費	473,770	17,760	456,010
減価償却費	26,433	34,723	△ 8,290
水道光熱費	66,704	56,531	10,173
支払手数料	430,000	170,000	260,000
講師関係費	14,190	24,990	△ 10,800
諸謝金	325,000	315,000	10,000
資料作成費	164,900	1,291,425	△ 1,126,525
広告普及費	731,246	135,844	595,402
報告書作成費	59,799	200,799	△ 141,000
旅費交通費	306,500	67,850	238,650
交際費	2,158,000	1,739,400	418,600
保険料	20,900	13,890	7,010
印刷製本費	662,297	708,054	△ 45,757
通信運搬費	130,260	116,632	13,628
支払負担金	21,000	11,000	10,000
雑費	24,836	17,652	7,184
事業費計	7,700,555	6,403,315	1,297,240

科 目	当年度	前年度	増減
② 管理費			
会議費	9,360	10,400	△ 1,040
給料手当	698,320	727,672	△ 29,352
福利厚生費	86,923	94,771	△ 7,848
渉外費	162,030	302,019	△ 139,989
慶弔費	80,600	126,260	△ 45,660
減価償却費	63,032	108,956	△ 45,924
消耗品費	301,724	280,997	20,727
通信費	288,801	336,406	△ 47,605
印刷製本費	19,783	20,746	△ 963
賃借料	718,637	773,500	△ 54,863
光熱水料費	159,063	177,391	△ 18,328
諸謝金	100,000	108,000	△ 8,000
修理費	126,565	28,823	97,742
租税公課	22,552	22,552	0
雑費	88,099	80,994	7,105
管理費 計	2,925,489	3,199,487	△ 273,998
③ 負担金			0
JCI会費	63,000	55,566	7,434
日本JC会費	280,000	275,000	5,000
国際協力資金	91,250	89,425	1,825
近畿地区会費	92,000	90,200	1,800
兵庫ブロック会費	290,000	285,000	5,000
負担金 計	816,250	795,191	21,059
經常費用計	11,442,294	10,397,993	1,044,301
当期經常増減額	△ 549,494	408,131	△ 957,625
2 經常外増減の部			0
(1) 經常外収益	0	0	0
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用	0	0	0
什器備品除却損	0	10,108	△ 10,108
經常外費用計	0	10,108	△ 10,108
当期經常外増減額	0	△ 10,108	10,108
当期一般正味財産増減額	△ 549,494	398,023	△ 947,517
一般正味財産期首残高	8,636,273	8,238,250	398,023
一般正味財産期末残高	8,086,779	8,636,273	△ 549,494
II 指定正味財産増減の部			0
基本財産評価益	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	8,086,779	8,636,273	△ 549,494

正味財産増減決算書
平成27年1月1日から平成27年12月31日まで

科 目	決算額	二次修正予算額	一次修正予算額	修正予算額	修正予算額との比較	当初予算額	決算額	備 考
	H26.1.1～H26.12.31	H26.1.1～H26.12.31	H27.1.1～H27.12.31	H26.1.1～H26.12.31		H26.1.1～H26.12.31	H26.1.1～H26.12.31	
1 一般正味財産増減の部								
1 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 受取入会金	0	0	0	0	0	0	250,000	
② 受取会費	7,770,000	7,770,000	7,850,000	7,770,000	0	7,530,000	7,990,000	
正会員受取会費	7,440,000	7,440,000	7,520,000	7,440,000	0	7,200,000	7,840,000	正会員受取会費
その他受取会費	330,000	330,000	330,000	330,000	0	330,000	150,000	正会員以外受取会費
③ 事業収益	2,629,280	2,399,280		0	2,399,280	0	2,253,000	
受託事業収益	0	0	0	0	0	0	0	
登録料	2,399,280	2,399,280	0	0	2,399,280	0	1,838,000	登録料
その他事業収益	230,000	0	0	0	0	0	415,000	その他事業収益
④ 受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	
⑤ 寄付金	480,000	0	0	0	0	0	300,000	寄付金
⑥ 雑収益	13,520	1,500	1,500	1,500	0	1,500	13,124	
受取利息	1,627	1,500	1,500	1,500	0	1,500	1,448	
配当金	500	0	0	0	0	0	500	
雑収益	11,393	0	0	0	0	0	11,176	
経常収益計	10,892,800	10,170,780	7,851,500	7,771,500	2,399,280	7,531,500	10,806,124	
(2) 経常費用								
① 事業費								
給料手当	152,400	152,400	152,400	102,400	▲ 50,000	72,400	72,400	
福利厚生費	0	0	0	0	△ 0	0	0	
会議費 賃借料	754,422	760,742	983,000	907,900	△ 147,158	907,900	519,930	
消耗品費	347,574	388,128	564,960	531,732	△ 143,604	531,732	363,256	
レンタル料	241,280	241,280	0	0	▲ 241,280	0	0	
食糧費	473,770	557,900	112,000	112,000	▲ 445,900	112,000	17,760	
人件費	0	0	7,000	7,000	△ 7,000	7,000	0	
支払手数料	430,000	430,000	160,000	160,000	▲ 270,000	160,000	170,000	
講師関係費	14,190	14,190	50,800	10,800	▲ 3,390	10,800	24,990	
講師会	325,000	325,000	948,000	738,000	△ 413,000	738,000	315,000	
資料作成費	164,900	165,310	329,210	280,030	△ 114,720	280,030	1,291,425	
広告普及費	731,246	702,782	487,880	232,880	▲ 469,902	232,880	135,844	
報告書作成費	59,799	59,799	70,799	10,799	▲ 49,000	10,799	200,799	
旅費交通費	306,500	396,500	130,000	220,000	▲ 176,500	220,000	67,850	
交際費	2,158,000	2,158,000	0	0	▲ 2,158,000	0	1,739,400	
保険料	20,900	22,300	35,590	30,590	△ 8,290	30,590	13,890	
印刷製本費	654,000	654,000	679,000	649,000	▲ 5,000	649,000	701,500	
通信運搬費	9,150	10,134	18,683	18,691	△ 8,557	18,691	9,425	
支払負担金	21,000	21,432	11,000	11,000	▲ 10,432	11,000	11,000	
雑費	24,836	24,404	75,578	75,578	△ 51,174	75,578	17,652	
事業費計	6,888,967	7,084,301	4,815,900	4,098,400	▲ 2,985,901	4,068,400	5,672,121	

科 目	決算額	二次補正予算額	一次補正予算額	修正予算額	修正予算額との比較	当初予算額	決算額	備 考
	H26.1.1～H26.12.31	H26.1.1～H26.12.31	H27.1.1～H27.12.31	H26.1.1～H26.12.31		H26.1.1～H26.12.31	H26.1.1～H26.12.31	
②管理費								
会議費	9,360	10,000	10,000	10,000	△ 0	10,000	10,400	総会ハガキ代
給料手当	823,020	827,600	827,600	867,600	△ 40,000	897,600	887,600	
退職給付引当金	0	0	0	0	△ 0	0	0	
福利厚生費	123,375	155,000	155,000	155,000	△ 0	155,000	124,973	雇用保険料・交通費
渉外費	162,030	200,000	200,000	200,000	△ 0	200,000	302,019	旅費・各種研修会費
慶弔費	80,600	150,000	200,000	200,000	△ 50,000	200,000	126,260	
減価償却費	89,465	140,000	140,000	140,000	△ 0	60,000	143,679	
消耗品費	428,253	520,000	550,000	550,000	△ 30,000	450,000	370,546	コピー用紙・トナー代
消耗什器備品費	0	0	0	0	△ 0	0	0	
通信費	409,911	450,000	450,000	450,000	△ 0	520,000	443,613	電話・インターネット代
印刷製本費	28,080	30,000	30,000	30,000	△ 0	60,000	27,300	年間の挨拶状
賃借料	1,020,000	1,020,000	1,020,000	1,020,000	△ 0	1,020,000	1,020,000	※ 55,000×12ヶ月
光熱水料費	225,767	250,000	250,000	250,000	△ 0	250,000	233,922	
請謝金	100,000	100,000	100,000	100,000	△ 0	100,000	108,000	税理士報酬
修理工費	126,565	130,000	50,000	50,000	▲ 80,000	50,000	28,823	コピー機修理代
租税公課	22,552	25,000	25,000	25,000	△ 0	25,000	22,552	印紙代・県民税
雑費	88,099	100,000	100,000	100,000	△ 0	100,000	80,994	新聞代
	3,737,077	4,107,600	4,107,600	4,147,600	△ 40,000	4,097,600	3,930,681	
③負担金					△ 0			
JCI会費	83,000	83,000	83,000	83,000	△ 0	56,700	55,566	※ 1,500×36回
日本JCI会費	280,000	280,000	280,000	280,000	△ 0	255,000	275,000	※ 25,000×12, 500×12回
国際協力資金	91,250	91,250	91,250	91,250	△ 0	82,125	89,425	※ 2,000×12回×36回
近畿地区会費	92,000	92,000	92,000	92,000	△ 0	83,000	90,200	※ 7,000×12, 200×36回
兵庫ブロック会費	290,000	290,000	290,000	290,000	△ 0	265,000	285,000	※ 65,000×12, 500×36回
	816,250	816,250	816,250	816,250	△ 0	741,825	795,191	
管理費計	4,553,327	4,923,850	4,923,850	4,963,850	△ 40,000	4,839,425	4,725,872	
経常用計	11,442,294	12,008,151	9,739,750	9,062,250	▲ 2,945,901	8,907,825	10,397,993	
当期経常増減額	▲ 549,494	▲ 1,837,371	▲ 1,888,250	▲ 1,290,750	△ 546,621	▲ 1,376,325	408,131	
2.経常外増減の部					△ 0			
(1)経常外収益					△ 0			
経常外収益計					△ 0			
(2)経常外費用					△ 0			
経常外費用計	0	0	0	0	△ 0		10,108	
経常外費用増減額					△ 0			
一般正味財産増減額	▲ 549,494	▲ 1,837,371	▲ 1,888,250	▲ 1,290,750	△ 546,621	▲ 1,376,325	398,023	
一般正味財産期末残高	8,636,273	8,636,273	8,636,273	8,636,273	△ 0		8,238,250	
一般正味財産期末残高	8,086,779	6,798,902	6,748,023	7,345,523	△ 546,621	▲ 1,376,325	8,636,273	
正味財産期末残高	8,086,779	6,798,902	6,748,023	7,345,523	△ 546,621	▲ 1,376,325	8,636,273	

正味財産増減計算内訳表

第3期 平成27年1月1日～平成27年12月31日

(単位:円)

科 目	実用事業等会計			その他会計		法人会計	内部取引消去	合 計
	経緯1	経緯2	小計	その他事業	小計			
	わんぱく増援	社会開発		研修交流等				
1 一般正味財産増減の部								
1 経常増減の部								
①受取入金金						0		0
受取入金金						0		0
②受取会費						7,770,000		7,770,000
正会員受取会費						7,440,000		7,440,000
その他受取会費						330,000		330,000
③事業収益						2,629,280		2,629,280
受託事業収益								
登録料						2,399,280		2,399,280
その他事業収益						230,000		230,000
④受取負担金						0		0
⑤受取寄付金						480,000		480,000
寄付金						480,000		480,000
⑥雑収益						13,520		13,520
受取利息						1,627		1,627
配当金						500		500
雑収益						1,393		1,393
経常収益計			0	0	0	10,892,800		10,892,800
2 経常費用								
①事業費								
給料手当	20,000	132,400	152,400	124,700	124,700			277,100
福利厚生費	2,337	15,422	17,759	18,693	18,693			36,452
会議・費増料	19,318	435,842	455,160	600,625	600,625			1,055,785
消耗品費	16,454	134,532	150,986	323,117	323,117			474,103
レンタル料	0	0	0	241,280	241,280			241,280
食糧費	17,400	431,370	448,770	25,000	25,000			473,770
人件費	0	0	0	0	0			0
支払手数料	0	250,000	250,000	180,000	180,000			430,000
講師謝儀費	0	5,400	5,400	8,790	8,790			14,190
謝礼金	0	300,000	300,000	25,000	25,000			325,000
資料作成費	410	6,640	7,050	157,850	157,850			164,900
広告費	43,824	657,287	701,111	30,135	30,135			731,246
報告書作成費	0	59,000	59,000	799	799			59,799
旅費交通費	0	306,500	306,500	0	0			306,500
交際費	0	0	0	2,158,000	2,158,000			2,158,000
保険料	6,300	3,600	9,900	11,000	11,000			20,900
印刷製本費	18,532	3,510	22,042	640,255	640,255			662,297
通信運搬費	8,173	52,469	60,642	69,618	69,618			130,260
支払負担金	10,000	10,000	20,000	1,000	1,000			21,000
雑費	0	1,404	1,404	23,432	23,432			24,836
減価償却費	1,894	11,184	12,878	13,555	13,555			26,433
水道光熱費	4,276	28,221	32,497	34,207	34,207			66,704
事業費 計	168,718	2,844,781	3,013,499	4,687,056	4,687,056	0		7,700,555

②管理費								
会議費						9,360		9,360
旅費手当						698,320		698,320
退職給付引当金						0		0
福利厚生費						86,923		86,923
渉外費						162,030		162,030
雑司費						80,600		80,600
減価償却費						63,032		63,032
消耗品費						301,724		301,724
消耗什器備品費						0		0
通信費						288,801		288,801
印刷製本費						19,783		19,783
賃借料						718,637		718,637
光熱水料費						159,063		159,063
諸謝費						100,000		100,000
修理費						126,585		126,585
租税公課						22,552		22,552
雑費						88,099		88,099
管理費 計	0	0	0	0	0	2,925,489		2,925,489
③負担金								
JCI会費						63,000		63,000
日本JC会費						280,000		280,000
国際協力資金						91,250		91,250
近畿地区会費						92,000		92,000
兵庫ブロック会費						290,000		290,000
負担金 計	0	0	0	0	0	816,250		816,250
経常費用計	168,718	2,844,781	3,013,499	4,687,056	4,687,056	3,741,739		11,442,294
当期経常増減額	△ 168,718	△ 2,844,781	△ 3,013,499	△ 4,687,056	△ 4,687,056	7,151,061		△ 549,494
3. 経常外増減の部								
①経常外収益	0	0	0	0	0	0		0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0		0
②経常外費用								
什器備品除却損						0		0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0		0
経常外費用増減額	0	0	0	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 168,718	△ 2,844,781	△ 3,013,499	△ 4,687,056	△ 4,687,056	7,151,061	0	△ 549,494
一般正味財産期首残高							8,636,273	8,636,273
一般正味財産期末残高	△ 168,718	△ 2,844,781	△ 3,013,499	△ 4,687,056	△ 4,687,056	15,787,334		8,086,779
II 指定正味財産増減の部								
基本財産評価益	0	0	0	0	0	0		0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0		0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0		0
III 正味財産期末残高	△ 168,718	△ 2,844,781	△ 3,013,499	△ 4,687,056	△ 4,687,056	15,787,334		8,086,779

自 2015年 1月 1日
至 2015年12月31日

2015年度 事業収益明細一覧

款	中科目	事業名	合計	金額(1人当り)	参加人数	小計	返金	担当委員会	備考
事業収益	受託事業収益								
	小計		0						
	登録料	新年会	1,695,000	15,000	113	1,695,000	0	会員交流委員会	
		淡路島まつり	168,000	3,000	56	168,000	0	会員交流委員会	淡路島まつり大会 出立
			295,000	5,000	59	295,000	0	会員交流委員会	淡路島まつり大会 交流会
		絆づくり	241,280	9,280	26	241,280	0	絆づくり・研修委員会	
							0		
							0		
	小計		2,399,280			2,399,280	0		
	その他事業収益	新年会	230,000			230,000	0	会員交流委員会	お祝い
助成金						0			
小計		230,000			230,000				
合計		2,629,280							

2015年度 寄付金収入明細一覧

寄付金	寄付金	0							
	一般寄付金	150,000							08会
		330,000							水産生活記念品11名×¥30,000
	小計	480,000							
	合計	480,000							

財 産 目 録

一般社団法人淡路青年会議所

平成27年12月31日現在

(単位：円)

科 目		金 額	摘 要
現金・預金	合 計	7,633,382	
現 金			
		0	
淡路信用金庫/本町支店 / 普通預金		806,741	No.0454865
淡路信用金庫/本店営業部/普通預金		3,791,144	No.0300206
"		500,144	No.0319813
"		140,034	No.0319821
"		171,410	No.0321012
淡路信用金庫/本町支店 / 普通預金		2,223,909	No.0749012
有価証券	合 計	10,000	
淡路信用金庫 出資証券		10,000	額面50円 200口 No.21942
流 動 資 産			

財務計算書類に対する個別注記

- 1 この計算書類は、「新・新公益法人会計基準」（平成20年4月11日公表）
によって作成しています。
- 2 重要な会計方針に係る事項に関する注記
 - (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有及びその他の有価証券は、移動平均法による原価法を採用しております。
 - (2) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産
法人税法の規定により、平成19年3月31日以前に取得した物は旧定率法
平成19年4月1日以後に取得した物は、新定率法によっています。
 - (3) リース取引の会計処理
リース取引については、通常の貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。
 - (4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式を採用しております。
- 3 会計方針の変更
該当なし
- 4 担保に供している資産
該当なし
- 5 保証債務等の偶発債務
該当なし
- 6 関連当事者との取引の内容
該当なし
- 7 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末帳簿残高は、次のとおりであります。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
エアコン	510,000	504,894	5,106
パーテーション	271,950	252,730	19,220
コピー機	493,500	493,499	1
コピー機	472,500	353,430	119,070
合 計	1,747,950	1,604,553	143,397

- 8 重要な後発事象
該当なし

16. 監査報告

公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告

一般社団法人淡路青年会議所
代表理事 平川 智己 殿

私たち監事は、平成27年1月1日から平成27年12月31日までの公益目的支出計画実施報告書に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

2. 監査の結果

公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

平成27年12月28日

一般社団法人淡路青年会議所

監事 印

監事 印

17. 資 料

1. 各事業別写真

2. 新聞記事切抜

17.資料 事業写真

1月例会 ～はじまりの点鐘～ 2015年1月14日(水)



2015年度新年会 2015年1月15日(木)



LOM 役員懇談会 2015年2月10日(火)



2月例会 ～情熱宣言～ 2015年2月10日(火)



3月例会 ～踏み出そう 次への一步～ 2015年3月11日(水)



前期 入会候補者説明会 2015年3月18日(水)



4月例会 ～相互理解からはじまるコミュニケーション～ 2015年4月8日(水)



5月例会 ～未来へ紡ごう！淡路JCの結束力～ 2015年5月14日(水)



第21回わんぱく相撲淡路場所 2015年5月17日(日)



6月例会 ～継往開来 次代への継承～ 2015年6月10日(水)



絆づくり事業 ～集え淡路JC！！団結は力なり～ 2015年7月4日(土)



7月例会 ～明日へ繋げる意志ある一票～

2015年7月8日(水)



淡路島まつりおどり大会 2015年8月1日(土)



8月例会 ～伝えよう 自分の想いを明確に～

2015年8月5日(水)



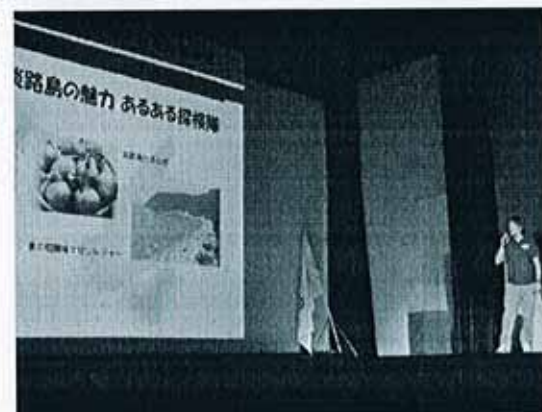
淡路島の魅力あるある探検隊！！事業説明会・交流会

2015年8月9日(日)

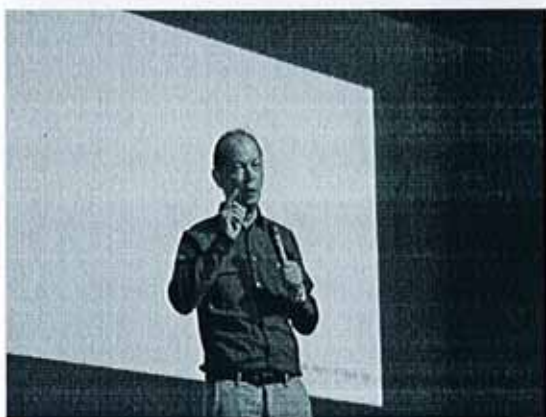


淡路島の魅力あるある探検隊！！発表会

2015年8月23日(日)



9月公開例会 2015年9月9日(水)



淡路 JCI 説明会 2015年9月16日(水)



10月例会 ～討論 子どもたちの未来を考えよう～ 2015年10月14日(水)



HISTORY OF KUNIUMI ～日本創生神話 伝承の地 体感プログラム～ 2015年10月28日(水)



11月例会 ～共走共汗の先にある光～

2015年11月11日(水)



12月例会 ～卒業そして次代へ～

2015年12月9日(水)



革新が伝統を創る

一般社団法人淡路青年会議所

平川智己理事長

新たななるチャレンジ断行



あけましておめでとうござい
ます。年頭にあたり、謹んで初
春のお慶びを申し上げます。私
ども一般社団法人淡路青年会議
所は、昭和38年に誕生し、53年
目を迎えます。設立より今日に
至るまで「淡路はひとつ」の理
念のもと明るい豊かな淡路島を
目指して一貫した地域のひとつ
くり・まちづくりを行ってまい
りました。

非常に速い時代の流れの中で
も、先輩諸兄から受け継がれて

きた想いや情熱は今も変わら
ず、次代につないでまいる所存
であります。一方で、今までや
ってきたことをたまたま繰り返すこ
とは、伝統という名を利用した
単なる言葉遊びにすぎません。
変えてはならないものは物事の
本質であり、変えるべきは時代
に即した手段であることを肝に
銘じ、必要であるにもかかわらず
誰も着手できない問題に勇気
を持って踏み出してまいりたい
と考えています。むしろ、この
革新の機り返しにより生まれ出
たものこそが、変わる

国際的に認められ、世界の中で
もマナーの良い観光客として認
識されていることも大きな要因
であると想定できます。

淡路島は、くじらみ神話で国
が生まれた地として古事記にも
記載され、地政学的にも日本の
縮図といえます。日本に対する
インバウンドが年間1300万
人を超え、国際的地位づけが評
価されている今だからこそ、淡
路島の価値を明確にすることも
に、新たなストーリーを展開
し、その存在を確固たるものに
してまいりたいと考えます。

たものこそが、変わる
ことのない伝統と呼べ
れるのかもかもしれません。
すなわち、「革新は、淡路島を
高と捉えることなくして伝
統なし」の心意気をもって、
新たなチャレンジを断行して
まいります。

以上のこと踏まえ、本年度
も「明るい豊かな淡路島」作り
のために、率先して行動してい
きます。その中で、以前からあ
る素晴らしいものを見つめなお
し、守りながらも斬新な切り口
で、勇気を持って変化させるこ
とが何より大切なことです。そ
うすることにより、新しい伝統
儀、作法などの文化が
創られると確信いたします。

近年、日本は世界で
いちばん人気のある国
として海外から注目を
浴びています。東日本
大震災での被災地での
対応やオリンピック誘
致を決めたことなどが
挙げられますが、アウ
トバウンドとして行
儀、作法などの文化が

創られると確信いたします。

革新が伝統を創る

一般社団法人淡路青年会議所
会員交流委員会 委員長 竹田良平氏

次代への革新を成す精神で邁進



一般社団法人淡路青年会議所（JCC）の会員交流委員会委員長竹田良平氏です。私は一昨年、家業の屋外広告業を継ぐために故郷淡路島へ15年ぶりに戻って参りました。

帰島を決める数カ月前までは、当時勤めていた会社を辞める気もまったくなく、ましてや家業に興味ありませんでした。父から社業を継いでほしいと言われたことをきっかけに、家業に対して、また故郷に対して初めて真剣に向き合い考えることができたように思います。

自分を育ててくれた親や故郷への感謝から帰郷意識が生まれ

ると同時に、約10年間私を社へ人として育ててくれた会社への思いの間に大きな葛藤がありました。人生のターニングポイントと考え、帰島を決意しました。

淡路島に帰り、仕事上でも、プライベート上でも必要な仲間を見つめようと思えば、様々な会やコミュニティに参加する中で、JCCに出会いました。昨年の年人会し、明るい豊かな淡路島の実現という志を同じくする仲間たちと活動を共にしていき

ます。このなかで故郷を思い、よくするために先駆者となって行動を起こすことの必要性、また、

島民の意識を変革していくことの重要性を自身のビジョンとして持つに至りました。これは家業にもフィードバックできるもので、帰島を決めた後、決意が、今後の明確な道標になったように考え

ております。今年のJCCは「淡路島NEXT STAGE」革新が伝統を創る」というスローガンのもと53年目のスタートを切りました。われわれが革新的行動を起こすことでこれからの伝統を紡いでいく、一方で伝統なくして新たな革新を成すことは不可能です。

今年以降から70年、阪神・淡路大震災から20年です。わが国を襲った未曾有の危機からの節目を迎える年でもあります。先人たちは終戦をむかえ、甚大な被害を被った国土を、純粋なまでの未来への希望と復興の願いを持って働き、今日の経済大国の礎を築いてこられました。

記憶に新しい阪神・淡路大震災では深い悲しみの中でも希望を捨てることなく、日本人らしく秩序を保ち、見事なまでの復興を遂げました。

そのような先人の礎をしっかりと受け止め、社業でもJCC活動でも先駆者たらん行動理念のもと、次代への革新を成すという精神で取り組み、明るい豊かな淡路島の実現に向けて邁進していく所存です。

革新が伝統を創る

一般社団法人淡路青年会議所

社会開発委員会 委員長 時枝弘記氏

明確なコンセプトで発信を



私は淡路島で三代続く「白粉店」の跡取りとして生まれ育ちました。高校まで淡路島で過ごし、以後10年間海外に出ています。島外で過ごしている時は淡路島出身だと言くと、おもしろいところや観光スポットを教えてくださいと聞かれましたが、当時はあまり答えることができず、淡路島に帰ってきてから友人に紹介できるように色んな場所を巡りました。

そんな時、先輩に勧められて入ったのが淡路青年会議所（JCI）でした。最初は気軽に考えられていた淡路島のことでしたが、淡路島の現状や問題点を知らなければ、このままでは子供たちにこの素晴らしい淡路島を残していけるだろうかと感じるようになり、淡路島の本当の魅力や価値は何か、そしてその活かし方を考えるようになった。

淡路島は豊かな自然に恵まれ、万葉集や各地に残る歌碑が示すように風光明媚な地です。御食国と詠われた食文化が残る、独自の発展を遂げてきた伝統・文化を今に受け継いでいます。これだけ素晴らしいものが残っている故郷を、子供たちの未来に残す責任がわれわれ世代にあると考えています。

しかし、素晴らしい魅力があるふるる島というだけでは、この地域の特徴を捉え特色を打ち出しておらず、日本の原風景を感じることができるよう「田舎」には来ましたが「淡路島」を体感できないという意見もありました。

今、国を挙げて2020年の東京オリンピックまで、2000万人のインバウンド獲得を目指してまいります。東京だけでなく、今まで体感することのできなかった日本を体感できる（おわり）

を考えると、今に海外からの観光客を分散させる動きが高まっています。淡路島もその存在を世界中にもっと示していかなければなりません。

淡路JCIでは、淡路島三市のご協力のもと日本遺産認定に向けて動いています。淡路島全域にまたがる組織だからこそ、われわれが連絡調整を努めさせていただきます。

その話し合いの中で浮上したのが「これまで淡路島として、何かひとつ、これというものがずっと取り組んできていない」ということでした。一つひとつは素晴らしいけれども、一本の柱のもとに繋がっていないことが問題になりました。これからの淡路島をつくる上で、明確なコンセプトを持ち島全体で共有し、それを基にした発信を行わなければなりません。行政、島民が一体となって行動し、「淡路はひとつ」となって最大限に発信することで、これからの明るい豊かな淡路島に繋がります。

これまで数年にわたって連携してきましたが、今年が最後となりました。今までご覧いただきました皆様方に感謝申し上げます。これからも明るい豊かな淡路島のために積極的に行動していくことを約束し、最後の連載とさせていただきます。

（おわり）

読 売 新 聞
淡 路 市 立 立 福 原 小 学



児童力士はっけよい

わんぱく相撲来月淡路場所

初心者歓迎 参加募る

淡路青年会議所は、小学生対象の「第21回わんぱく相撲淡路場所」を5月17日午前10時30分から南あわじ市立福原小学校で開く。実行委員長は「ぶつかり合い、熱戦あつて礼儀や努力、思いやりを育むことができる。初心者も大歓迎」と参加を呼びかけている。

（井ノ口麻子）

同会場によると、これまでの大会の多くは、淡路島内でも相撲が盛んな淡路市で行われてきたが、今回は南あわじ市相撲連盟の協力で初めて南あわじ市での開催が決まった。淡路市相撲連盟も審判を派遣する。

試合は、1・3年生は男女混合で、4・6年生は男女別で戦う。男子はまわし、女子は体操着を着用。学年ごとに種別、準優勝などを決め、低学年と高学年で三賞（殊勲、敢闘、技能）も選ぶ。優勝した4・6年の男子は、6月の兵庫プロフ

久地区大会に出場し、勝ち抜けば全国大会に進む。

2015年の大会では、当時小学5年生だった大相撲の照徳（南あわじ市出身）が全国大会へ進んだ。神富士（同）も淡路場所に出場経験があるという。

参加無料。豆乳やタオルは各自で準備。まわしのない人は主催者で用意する。雨天時は21日に延期（会場は淡路市立立福原）する。

申し込みは20日まで所定の用紙で0666・0013（洲本市下加茂1の1）の88、淡路青年会議所（0799・22・6611）へ電話かファクス（0799・22・6626）で。用紙は同会議所のホームページ（<http://www.wanpaku-jc.com>）から入手できる。

（初心者も大歓迎）
電話：0666-0013
（白）（洲本市）

淡路青年会議所が参加者募集

わんぱく相撲
集まれ小学生

来月17日、福良小学校

淡路島の小学生力士たちが土俵上で白熱の取組を展開する「第21回わんぱく相撲(淡路場所)」が5月17日、南あわじ市福良の福良小学校である。現役の大相撲力士を輩出する名門、競技が盛んな同市が初めて会場となる。主催する淡路青年会議所が参加者を募っている。(佐藤健一)

競技盛んな南あわじで初開催



手に汗流る取組が披露された前回大会=2014年5月5日、淡路市立石原小学校



子ども力士のチャレンジを期待する淡路青年会議所のメンバーたち(福良小学校)

強い相手に立ち向かう勇氣や体力を養う青少年育成事業。これまで主に淡路市が会場だったが、幕下位で活躍する強豪(本名福良)さんらの出身地である南あわじ市で開催することで、参加者の数をあげる。1〜3年生は男女混合、4〜6年生は男女別別リーグ戦を準備。低学年と高学年に分けて取組、散開、技の三賞を設ける。4〜6年の男子優勝者は6月28日に高砂市で行われる兵庫ブロック地区大会に進出、同大会上位4人は全国大会(8月2日、東京・両国国技

「体力、礼儀、努力を養って」

館)に進出する。大会運営を担当する淡路市の横山泰明さん(28)は「大相撲が盛んな中、1対1で体をぶつけ合うことで、礼儀や努力、思いやりを日常生活に必要な心構えを育みたい」と話している。午前は9時、午後4時。開場は5月24日(土)午後5時。観覧料は無料。申し込みは4月30日まで。問い合わせは電話0799・22・6011。

淡路青年会議所
〒790-0001 淡路市福良
0799-22-6011

来月17日、南あわじ市で初 わんぱく相撲淡路場所

青年会議所が参加者募集

小学生が土俵でぶつかり合う「第21回 わんぱく相撲淡路場所」が5月17日、南あわじ市立福良小学校で開催される。21回目の今回、初めて南あわじ市での開催



わんぱく相撲淡路場所のポスターを手にする淡路青年会議所の理事長ら

となった。主催する一般社団法人淡路青年会議所は参加者を募集している。

低学年は男女混合、高学年は男女別で行い、各学年ごとに総当たりのリーグ戦を実施。4～6年の男子優勝者は6月28日の兵庫ブロック地区大会（高砂市）に出場、さらに地区大会で4位以内に入れば、8月2日に東京・両国国技館で開催される全国大会に参加できる。昨年は神代小の4年生が全国大会に駒を進めた。

南あわじ市出身で現在大相撲で活躍する照強や善富士（ともに伊勢ヶ浜部屋）もこの大会に出場。照強は5年生のときに全国大会に出場したという。

参加費無料。低学年、高学年に分けて三賞（殊勲、敢闘、技能）が贈られる。申し込みは30日までに同会議所のホームページにある申込書に必要事項を記入して郵送（〒656-0013 洲本市下加茂1の1の86）かFAX（0799・22・6626）へ。問い合わせは（☎0799・22・6611）。

66人はっけよい 南あわじ市でわんぱく相撲



淡路島の子とも力士たちが土俵上で白熱の取組を繰り広げる「第21回わんぱく相撲淡路場所」が17日、南あわじ市の福良小学校で開かれた。写真、小学1～6年生の計66人が参加し、まわし姿で力いっぱい体をぶつけ合った。

強い相手に立ち向かう勇氣や体力を育もうと、淡路青年会議所が企画。これまでは主に淡路市が会場だったが、競技のすそ野をより広げようと、幕下上

位で活躍する照強（本名・福岡翔輝）さんらの出身地である同市が初めて会場となった。

1～3年生は男女混合、4～6年生は男女別でリーグ戦などを実施した。子どもたちは土俵に上がるや、きりりと引き締まった表情に。思い切った立ち合い、豪快な突き押しや投げ技が決まると、応援席は大いに沸いた。

4～6年の男子優勝者は6月に高砂市で行われる兵庫ブロック地区大会に進出。同大会

上位4人は全国大会（8月2日、東京・両国技館）に駒を進め

創業昭和二十七年

Nishi

(有)西 白衣

医療用・介護用ユニフォーム
調理白衣
サービスユニフォーム
作業服・事務服も

HPアドレス
<http://www.24891.co.jp>

徳島市南庄町3丁目7-1 TEL 0881633-8381

1枚からでも配達でお届けさせていただきます。プリントも承取ります。お気軽にご相談下さい。

る。(佐藤健介)
成績は次の通り。
【優勝者】1年―藤本頼

- 人(神代)▽2年―菊井城聖(八木)▽3年―新宮武(神代)▽4年女子―堀井歩美(八木)▽5・6年女子―堀井利香(八木)▽4年男子―中川凌我(堀田)▽5年男子―岡田大成(曾波)▽6年男子―萩原海輝(石原)
- 【三賞】〈低学年〉敢闘―堀本伊吹(石原)▽技能―上田直(神代)▽殊勲―富水博紀(二宮)
- 〈高学年〉敢闘―岸本麻鳩(福良)▽技能―岡田大成(曾波)▽殊勲―前田菊花(八木)



熱戦が繰り広げられた「わんぱく相撲淡路場所」(南あわじ市福良乙)

小さな力士たち熱戦

真剣勝負を通じて健全な肉体と精神を養ってもらおうと、南あわじ市福良乙の市立福良小学校で「第21回わんぱく相撲淡路場所」が開かれ、1年生から6年生の66人が土俵上で熱戦を繰り広げた。

一般社団法人淡路青年会議所が毎年開催している。取組は総当たりのリーグ戦方式などで行われ、小さな力士たちがぶつかり合いや投げを繰り出すと、土俵の周りから大きな歓声が飛んだ。淡路島での「わんぱく相撲」は21回目を迎えたが、南あわじ市での開催は今回が初めてという。

4～6年生の男子優勝者は、6月28日に高砂市総合運動公園の相撲場で開催される「兵庫ブロック大会」に出場。ブロック大会で4位までに入賞すれば、8月2日に東京都の両国国技館

で開催される全国大会に出場できる。

各部門の優勝者と、殊勲、敢闘、技能の「三賞」は次の通り。(敬称略)

〈1年生〉藤本頼人(神代小)
 〈2年生〉菊井琉聖(八木小)
 〈3年生〉新宮武(神代小)〈4年生女子〉稲井歩美(八木小)
 〈5・6年生女子〉稲井利香(八木小)〈4年生男子〉中川渡我(塩田小)〈5年生男子〉岡田大成(育波小)〈6年生〉萩原海輝(石塚小)

【わんぱく三賞】

〈低学年〉敢闘賞 嶋本伊吹(石塚小2年男子)▷技能賞 上田亘(神代小2年男子)▷殊勲賞 富永柚妃(一宮小1年女子)
 〈高学年〉敢闘賞 岸本麻穂(福良小5年男子)▷技能賞 岡田大成(育波小5年男子)▷殊勲賞 前田梅花(八木小4年女子)

「わんぱく相撲」南あわじで初開催

小学生 白熱の取組

わんぱく相撲淡路場所



力強い取組を繰る児童たち
（南あわじ市立福良小で）

第21回わんぱく相撲淡路場所（淡路青年会議所主催）間からは「頑張れ」「腰をがけ」と、南あわじ市立福良小の土俵で、小学生の男子が、小学生の男子と対戦。激しいぶつかり合いや土俵際の攻防など白熱した取組

が続いた。応援の父母や仲間からは「頑張れ」「腰をがけ」と、南あわじ市立福良小の土俵で、小学生の男子が、小学生の男子と対戦。激しいぶつかり合いや土俵際の攻防など白熱した取組

路市立塩田小の中川凌我君（9）は「最初の当たりが良く、優勝できてうれしい。全国大会に行けるように順大会でも勝ちたい」と意気込んでいた。

ほかの部門の優勝者は以下のみなさん。

▽1年 藤本朝人（神代）▽2年 柳井瑞穂（八木）▽3年 新宮武（神代）▽4年 女子 柳井歩美（八木）▽5年 男子 岡田大成（青島）▽5年 女子 柳井初香（八木）▽6年 男子 萩原海輝（石屋）

淡路島の魅力あるある探検隊

淡路青年会議所、小学生対象に8月実施



子供たちに淡路島のこと「探検隊」を8月に実施する。をより知ってもらおうと、淡路青年会議所（JCC）は、淡路島を調査してその内容を発表するもので、参加者50人を募集している。

自立心や愛郷心を持ってもらおうと初めて企画された。8月9日に南あわじ市の「サンセットビューホテル けひの海」で説明会、交流会が行われ、初対面同士で1組5人の10チームを作る。リーダーや写真係、書記係などの担当を決め、五斗長垣内遺跡、伊弉諾神宮、洲本城跡、沼島などJCCが準備した15カ所から調査場所を2カ所を選ぶ。対象は在住市以外の場所とし、広く島のことを理解してもらおう。8月10、22日までにJCC担当者と一緒に対象施設を訪れて調査を行い、同23日に洲本市の五色文化ホールで10分程度の発表を行う。

対象は島内在住の小学生、4、5、6年生。参加費無料。各市役所やJCCの公式ホームページにある申込書に必要事項を記入し、郵送かFAXで8月3日までに申し込む。50人を超えた場合は抽選。問い合わせは淡路青年会議所（☎0799・22・6611）。

〈第三種文化財認定可〉

「国生み神話」を中心に 島内一丸「委員会」発足

目指せ日本遺産



淡路島内3市や淡路青年会議所などで構成された「淡路島日本遺産委員会」＝24日、洲本市健康福祉館

歴史的建造物、伝統芸能など有形、無形の文化財をテーマや地域ごとに一括認定する文化庁の「日本遺産」への認定を目指す「淡路島日本遺産委員会」が作られ、24日に洲本市港の市

健康福祉館で発足式が行われた。島内3市や淡路青年会議所、淡路県民局などがメンバーで、来年度の認定を目指し活動を進める。日本遺産は厳しい保全体制と普遍的な価値の説明が

求められる世界遺産とは違い、地域活性化に重点を置いた文化庁の新しい事業。地域の伝統文化の魅力を伝える「ストーリー性」が重視され、認定された自治体にはガイド育成費などが補助される。

第1回は40都府県から83件の提案があり、今年4月に18件が認定された。洲本、南あわじ、淡路の島内3市なども提案したが、準備不足もあって落選。県内では藤山市の「丹波篠山デカンショ節 民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの記憶」が選ばれた。今回は淡路県民局や淡路島観光協会などもメンバーに加え、淡路島が一体となって再挑戦することを決めた。

今後、実務者レベルで月2回程度の会合を実施。イ

ザナギノミコト、イザナミノミコトの2神が登場する「国生み神話」を中心として、淡路島の文化や伝統を伝えるストーリーを構成していく。会長を務める淡路市の門康彦市長は「3市が連携しなければ物語（ストーリー）が完結しない」と述べ、認定に向けて島内全体が協力することの重要性を訴えた。

ち

2015年(平成27年)6月25日 木曜日

不申

「日本遺産」今年こそ

島内3市と県民局、青年会議所など

“オール淡路”の委員会発足



発足式後、記念撮影に応じる(前列左から)中田勝久南あわじ市長、門康彦淡路市長、竹内通弘洲本市長ら＝洲本市健康福祉館

2015年度に新設された文化庁認定の「日本遺産」に淡路島3市は「日本のほし島」が加わることを目指し、官民連携の「淡路第1弾」に応募したが落

選。洲本市内で同日あった発足式には3市長も出席し、会長に就いた門康彦淡路市長が「3市が連携しなければ、物語は完結しない」と「オール淡路」での雪辱を誓った。

日本遺産は、地域に点在する有形無形の文化財をまとめ、一つのストーリーに仕立てたものを認定する制度。観光資源発掘や地域活性化を目的とする。15年度分は40都府県から83件の申請があり、篠山市のデカンシヨ節や福井県の鯖街道、四国4県のお遍路など18件が4月に認定された。委員会事務局の淡路

青年会議所は昨年10月に制度新設を知り、同年12月～今年2月に3市と協議。国生み神話と、海との関わりを軸にした物語を作り、40件に絞る1次審査は突破したが、最終審査で落選

すし屋 互のぶ 予約制 火曜日定休 62-1040

した。「準備不足と広域での調整の難しさが響いたのでは」(同会議所)という。委員会は島内3市と

各市教育委員会、淡路県民局、淡路島くらしみ協会、淡路島観光協会、同会議所で構成。月2回の頻度で話し合いを重ね、来年2月の申請までに物語を精査する。(上杉順子)

日本遺産認定へ再挑戦

淡路島日本遺産委員会 発足式

くとうみ神話と海



委員会発足「ストーリー練り込む」

淡路島内3市と淡路県民局、淡路青年会議所（淡路JC）をほけつ日、「くとうみ神話と海」をテーマに文化庁の日本遺産認定を目指す「淡路島日本遺産委員会」（会長・門康彦淡路市長）を設立した。初年度の今年は落選しており、関係者は「態勢を整えてじっくり練り込み、島の魅力をしっかりアピールしたい」と意気込んでいる。（井ノ口麻子）

日本遺産は、地域の文化財や伝統芸能などを一体的に認定、外国人観光客向け

の情報発信などに補助金が出る。2020年の東京五輪開催までに約100件が認定される予定。

初年度は3件の応募があり、今年4月に18件が認定された。淡路島からは3市が共同でくとうみ神話と海をテーマに「日本のほけつ日」の地、淡路島を応募し、事前審査は通過したが認定は逃した。県内からは4件の応募のうち、「丹波篠山アカンシヨ節」民謡に乗せて歌い継ぐふるさと「記憶」の篠山市だけが認定された。

島内関係者らは原因を「準備不足」と分析。新たに淡路県民局や各市教委、淡路島くとうみ協会、淡路島観光協会も参加した同委

日本遺産認定を目指して
発足した3市の市長ら
（洲本市健康福祉館で）

員会を作った。事務局は淡路JCに置く。

この日、洲本市健康福祉館で発足式が行われ、3市の市長や尾原勉・淡路県民局長らが出席。平川智巳・淡路JC理事長が「今回は必ず認定を受け、島が一つとなって魅力を発信していきたい」とあいさつした。

中田勝久・南あわじ市長は「綱線が大層発見され話題となったのは嬉しい。価値をしっかりと伝えたい」と話し、竹内通弘・洲本市長は「都に真材を献上した」とや南海道など古代から栄えた。始まりの歴史を強調したい」とする。

会長の門市長は「伊弉諾神宮を始め弥生時代に鉄器が作られた五斗長尾内遺跡などもある。トータルな歴史の物語ができればアカンシヨ節にも負けないはず」と意気込んだ。

今後は月2回程度、幹事会を開いて「ストーリー」を練り上げ、来年2月頃の応募に間に合わせる。

リハ&スバ
アカンシヨ節



「わんぱく相撲」全国大会出場

小学生2人 必勝誓う

淡路市長を表敬訪問

高砂市で開かれた「わんぱく相撲」兵庫ブロック大会（県大会）で上位入賞し、全国大会へ出場する淡路市立石屋小6年、萩原海輝さん（11）と同市立育波小5年、岡田大成さん（11）の2人が淡路市役所を表敬訪問し、門康彦市長に必勝を誓った。

5月に南あわじ市で開かれた「淡路場所」で2人は各学年の部で優勝。6月の県大会では萩原さんは4位、岡田さんは優勝して全

国行きを決めた。

身長145センチ、体重66キロで突き押しが得意という萩原さんは強豪が集う大舞台を前に「とりあえず1勝はしたいです」。岡田さんは身長158センチ、体重47キロで下手出し投げが武器といい、「自分より大きい相手を倒してベスト4以上に入りたい」と語った。

全国大会は8月2日、東京・両国国技館で開催され、小学4～6年生の男児が各学年で約130人出場する。門市長は「東京では気をつけて頑張ってほしい」と激励した。

前武雄市長を招き 来月、洲本で講演会

淡路青年会議所

淡路青年会議所（JC）

は9月9日に洲本市塩屋の市文化体育館で前佐賀県武雄市長の樋渡啓祐氏（45）を

招いて「地方創生 既成概念を打ち破れ」と題した講演会を開催する。チラシ。

樋渡氏は武雄市長時代にレンタル大手の「TSUTAYA」を運営するカルチュア・コンビニエンス・クラブを市立図書館の指定管

地方創生
既成概念を
打ち破れ

あなたが見る地域の現状のどは？
● 自分たちづくりに必要なのは？
● 希望される地域へと展開させる事業とは？

前武雄市長 樋渡 啓祐 氏 招き

9月9日

淡路青年会議所

JCI 一般社団法人淡路青年会議所

淡路青年会議所
〒770-0001 洲本市塩屋1-1-1
TEL: 0799-82-6626 FAX: 0799-82-6626

「淡路島の皆さんに武雄市の成功例を知

JCでは
理者にするなど、トップダウン型の改革を行ったこと
で知られる。

ってもらい、自分たちにも（改革が）できるという意識を持ってもらうきっかけにしたい」としている。

無料講演会（午後6時半開演）の参加希望者はJCの公式サイトなどにある申込用紙に必要事項を書いてFAX（0799・22・6626）で申し込む。先着450人。

問い合わせは淡路青年会議所（☎0799・22・6611）。

(第3種郵便物認可)



国生み神話の舞台・淡路島に、欧米や豪州、東南アジアからの留学生50人を招く企画が28日、行われる。発案者として「島がもう一度、活気づくきっかけになれば」と願っている。

高速道路を使えば、大阪市内からでも1時間半。交通の便の良さから「観光の島」として注目される淡路島は、急激な人口減と高齢化の波に洗われている。

観光地が華やかく陰で、生まれ育った街はかつてのにぎわいを失って行く。淡路市多賀にある石材店の4代目は、神戸で大学生活を送り、大阪の老舗石材店での修業を終えて帰郷した5年前、そんな現実を目の当たりにして衝撃を受けた。

淡路青年会議所・社会開発委員長

時枝弘記さん 33(淡路市)



外国人にも国生み神話を知ってもらいたいと語る、淡路青年会議所の時枝弘記さん(淡路青年会議所で)

国生み神話外国人に

父親たちの世代は「島の伝説は守る。祭りも続ける」という意識を強く持っている。ところが、このまま人口が減り続けると祭りを続けられなくなることに気づかないから、現状を変える動きが生まれにくいという。

そんな矛盾が島に蔓延していることを、帰郷と同時に入会した淡路青年会議所の活動を通じて知った。一方で、島で生まれ、子どもの頃から耳

にしながら、「国生み神話ってなに？」と問われて言葉に詰まる自分の姿にも気づかされた。

「神話は島民のアイデンティティーや、理解せずに島の再興もない」。先輩会員の声に背中を押され、島のことを改めて学び始めた。

イザナキノミコトとイザナミノミコトが海をかき回した矛から滴った潮水が固まってオノココ島となり、そこから

淡路島をはじめ日本の島々ができた。そう伝えるのが国生み神話だ。

神秘的で荒唐無稽にも思えるからこそ「神話」と言うのだろう。だが、南あわじ市では1960年代、鋼剣が日本見つかった。しかも今年、同市で鋼剣が大量に出土した。自宅近くには、島を造った神々が休んだとされる伊弉諾神宮がある。

学ぶほどに、神々の時代から現代までのつながりを強烈に感じるようになった。

そんな時、留学生を招こうと思いついた。神の矛から最初に滴り落ちたと伝わる離島・沼島と伊弉諾神宮を訪ねてもらうのだ。

外国人に国生み神話ほどのように伝わるのか。十分に理解してもらえるのか。不安は尽きないが、胸に秘めた強い期待感がある。

「この島の歴史に、外国人の興味をひくほどのインパクトがあるのなら、国生みの神話は、街を再び隆盛させる原動力になるはずだ」

(増田弘治)



国生み神話 外国人に発信 沼島や伊弉諾神宮訪問あすツアー

淡路青年会議所

淡路青年会議所は外国人観光客の誘致や淡路島の魅力を国際的に発信していくために、関西在住の外国人留学生などを招待し、日本創生神話 伝承の地 体感プログラム」として沼島や伊弉諾神宮を訪れる1日バスツアーを28日に開催する。ツイッターなどソーシャル・ネットワークキング・サービス(SNS)などで情報発信してもらうほか、外国人の目から見た淡路の魅力を探る。

関西在住の外国人に淡路島の国生み神話を体感してもらう、情報発信する淡路青年会議所のバスツアーコース

参加するのは大阪、神戸などに住む米国、カナダ、ドイツ、フランス、フィリピン、ベトナム、インドネシアなど約20カ国・地域の留学生や一般の外国人約50人。

ツアーは午前中に大阪、神戸をバスで出発し、車内で同会議所が昨年制作した国生み神話のアニメを見てもらう。淡路島が日本のはじまりの地であることを説明。淡路島パーカーを食べ、沼島に渡り、クルージングで上立神宮などを見学する。伊弉諾神宮では夜の参拝を行い、ハモや淡路ヒーフ、淡路島牛丼、淡路島スイーツなどのグルメと獅子舞やたんじりなどの伝統芸能を体感してもらう。

所の時枝弘記・社会開発委を体感してもらう。外国人員長(33)は「国生み神話の評価を得て(国生み神話)全面的に押しだしてプログラムの日本遺産登録にもつなラムを通じて淡路島の魅力「けたい」としている。

参加者にはSNSで情報発信してもらうほか、国生み神話のストーリーや淡路島の魅力についてアンケートを行い、今後の誘致に生かす。企画を進める同会議

神々からの伝言

旧暦では長月(9月)の中旬となり各地で菊華展が開催されている。「キク」は、春の「サクラ」とともに日本を代表する花で、皇室のご紋章(16の重弁)にも使われている。この時期に咲くことから「長月草」「長月花」とも異称される。

毎年開催の文化祭に出展される「懸崖つくり」のキクは、出展者のご協力で伊弉諾神宮拝殿前でも展示披露していた。七五三祝の時期にあたるため、祈願に訪れる祝児たちが丹精を尽くした見事な花を背景に写真に収まる姿は、微笑ましいかぎりである。袴や帯を幼児の身につけて成長を祝う儀式であった七五三は、旧暦の霜月祭が起源となる。「7歳までは神のうち」といって、幼児死亡率の高かった時代に人より神に近い存在として祭礼などで稚児役を務め、7歳になると氏

淡路島にインバウンドを

293



外国人招いて国生み神話体験ツアー

子入りして集落構成員と認められた。3歳児の髪置、5歳男児の袴着、7歳女児の帯解の人生儀礼は11月15日を七五三祝の日とする習わしだったが、近年はそれぞれの家庭の都合で参拝が

分散化傾向にある。少子化で祈願者が減少するなかで、9月から12月まで七五三祈願ができるよう準備している。観光客を含めて、伊弉諾神宮への参詣客は年々増加し、最近では外国人観光客も見掛けるようになった。国は東京五輪の平成32年までに2千万人の来訪を目標に掲げている。また東京一極集中ではなく、人の流れの分散化を図る国策で地方活性化もめざしている。

日本への外国人旅行者(インバウンド)は昨年千3百万人を超え、来年には千8百万人を突破して国内旅行者を上回るとの予測もある。この状況に着目した一般社団法人淡路青年会議所が社会開発事業の一環として、KUNIMI UMI体感プログラム「淡路島」を企画し、欧米や東南アジアなど10数カ国の外国人籍の在留人を募って体験ツアー

を実施し誘致策に取り組んだ。大阪に集合した参加者(50数人)は観光バスで淡路島を訪れ、鳴門海峡を一望する「うすの丘」、おのころ島伝承地の「沼島」の視察研修を終え、薄暮の伊弉諾神宮に参拝した。蠟燭の灯の導く正面参道を進み昇殿した一行は淡路神楽を奉納し、玉串を奉って2拝2拍手1拝の作法で拝礼したあと、宮司の由緒説明に耳を傾けた。

参拝後は境内の仮設舞台で披露された大和のまほろば(箏曲と語り)や獅子舞、たんじり唄などの郷土芸能を楽しみ、御食国アースに用意された淡路島牛丼、淡路島ヌードルなど地元食材や地酒の振る舞いを味わうとともにダンスリを担ぎあげて島国のお祭り気分を満喫して帰路についた。

外国人を招いて行われた国生み神話の体感プログラムでは、伊弉諾神宮の境内で舞台が披露された

太古から連続と継承する日本の伝統文化や豊かな食文化を体感した参加者の感想や評価をどのように生かすことができるかが今後の課題である。(伊弉諾神宮 本名孝至宮司)

塩 浜 島

（朝日新聞記者撮影）

伊弉諾神宮の参拝前に、手を清める留学生ら（淡路市で）



参道にろうそくの明かりがともり、投光器が夜姿を照らす伊弉諾神宮（淡路市）に到着したのは、薄暮の頃。手水舎では、淡路JCメンバーから清めの作法を教わった後、拜殿に上がって参拝、玉串をささげた。

友達が投稿にいいね！しました

外国人留学生さん

神秘的な島

ワンダフル！

関西に住む欧米やアジアの留学生を淡路島に招待する、淡路青年会議所（淡路JC、洲本市）主催のツアーが先月末にあり、50人が「国生み神話」の地を巡った。島の魅力を留学生の口を借りて海外へ発信し、インバウンド（外国人観光客誘致）の扉を前もつとの試み。思い通り、留学生のフェイスブックには、写真付きで島の伝統文化や自然が紹介されている。（斎藤剛）

■おのころ島（南あわじ市）だった。一行10月28日に催された日福を、市立沼島小の児童によりツアー最初の目的地は、和太鼓の演奏が迎えた。この島の磯には、高さ約30メートルもある奇岩、土立神岩がある。この岩が、天上からおのころ島に降り立った2神が婚姻の儀式を行った場「天の御柱」であるという解説があった。

留学生らは、荒々しく神秘的な眼観に「素晴らしいなめだ」「感動した」と感嘆しながら見入った。

国生みツアーFBで写真掲載 ■「反応に手応え」

■味覚も堪能 境内では淡路ヒーフやすし、地酒など島の味わいが振る舞われた。おんじり唄や二十五弦等の演奏、獅子舞の披露もあった。小型のたんじりを淡路JCのメンバーと留学生がかついで境内をまわり、祭りのムードも加わった。同志社大に通う、ロシア出身のアリョーナ・シューコワさん（21）は、早速、自身のフェイスブックに行き先々で見た光景を切り取った写真を掲載した。留学生の友人やロシアの友達3人から「いいね」の返事が届いたという。

■伊弉諾神宮 参道にろうそくの明かりがともり、投光器が夜姿を照らす伊弉諾神宮（淡路市）に到着したのは、薄暮の頃。手水舎では、淡路JCメンバーから清めの作法を教わった後、拜殿に上がって参拝、玉串をささげた。

シンガポール出身で、京都大に通うラン・チェンボーさん（26）は「神話にゆかりがある地はやはり、神秘的な感じがする。正しい作法で参拝するのは初めてで、厳かさは鳥肌が立った」と言う。神戸市外国語大のワクサン・メディさん（28）は「夜の境内の雰囲気が入った。日本の神話の世界を体験できてよかった。フランスにいる家族や友達に日本に来たら、ぜひ、淡路島を紹介したい」と話していた。

淡路JCの平川智己理事

長は「予想以上の反応で、手応えがあった。外国人観光客を呼びやすさがかりにできそうだ」と話した。

2016年度

事業計画書

2016年1月1日～12月31日

一般社団法人
淡路青年会議所

一般社団法人淡路青年会議所

2016 年度 スローガン

心ひとつに

～志高き大義を以て～



2016 年度 理事長

中田 勝文

1. 理事長所信

はじめに

一般社団法人淡路青年会議所は「淡路はひとつ」の理念のもと、53年の歴史を刻み、明るい豊かな淡路島の実現に向けて活動してまいりました。先輩方の創ってこられた53年の歴史と伝統に感謝と敬意を払い、淡路JCメンバーであることへの自覚を今一度見出す必要があると強く感じます。時代が変われば環境も変わり、そして組織の風土が変わるのは必然ですが、それぞれの団体に個性があるように、淡路JCにも明確なアイデンティティがあり、この組織でしかできないことはもちろん、体験できないことが数多くあります。そういったことを決して失わないことを前提に、新しいチャレンジを行う必要があります。つまりそれは、受け継がれてきた高い志と新しい時代の発想とを融合させた前向きな変化そのものなのです

日本遺産取得へ

地域創生が叫ばれている昨今、国の政策として、地域住民のアイデンティティの再確認や地域のブランド化を図るために「日本遺産 (Japan Heritage)」が創設されました。昨年、淡路島全体での取得を前提に、この淡路島が日本神話に基づく「はじまりの地」であるということを中心テーマとし、島内三市関係団体のご理解とご協力のもと「淡路島日本遺産委員会」を設立することができました。まさしく、我々が設立当初から掲げている「淡路はひとつ」という想いを具現化させたものであります。今年度はその組織と心をひとつにし、日本遺産の取得へのあゆみをさらに強く推し進めて参る所存です。

淡路島の未来を創る

淡路島を支えているのは島民であり、未来の淡路島を担っていくのは淡路島に住む子どもたちです。その子どもたちに夢や希望を持たせることは成長期において大変重要なことですが、何より大切なのは、人として常識的に備えておくべき素養をしっかりと身に付け

ることだと考えます。本来、それは子どもたちが生きる日常の中のさまざまな人との関わり合いの中から培われるものであります。しかしながら、どれほどの人々がその大切さに気づき、どれほどの人々がそのような気持ちで子どもたちに接しているのか、疑問に感じる場面も多く存在します。多くの関わり合いの中で受けた恩を肌で感じ、思いやりと感謝の心を養うことで魅力あふれる人格が育まれるものと考えます。

人から地域へ—— 親はもちろん、先生や友達、また地域の人々に助けられ、支えられていること。

その事実を心で理解し、子どもたちが自分たちを育ててくれた地域に感謝の気持ちを覚えることが、未来の淡路島を創っていく大きな第一歩となることと確信しています。

魅力あふれる組織へ

入会年度の浅いメンバーの割合が多くなった昨今、指導的立場にある人材の経験不足や認識の甘さにより、淡路 JC 本来の素晴らしさが隅々まで伝播していないという状況に直面することがあります。私は、これまでの JC 活動において、豊かな個性を持ち、自信に満ち溢れた多くの先輩方に出会い、さまざまな指導を受けて成長することができました。いつの間にか心を動かされ「いつの日か、このような人になりたい!」という目標となって現在に至っています。先輩方から共通して見出されたことは、自分たちのまちは自分たちでつくる、自らが成長することで地域を変える、という強い想いでした。この想いを持つためには、個々のプライドを懸け、決して臆することなく立ち塞がる大きな壁に挑戦し、しっかりと結果を残すことと考えています。それが自分たちの誇り、そして自覚を伴う責任を持つことに繋がり、結果として地域を変えるのです。その上で、皆が同じ目的にベクトルを合わせることで、組織としてより強い力を発揮することができるのです。

淡路島のことを本気で語り合い価値観を共にし、がむしゃらに突き進むことにより、さらに魅力あふれる組織になることと確信しています。

「想い」で拡大する

JC メンバーが全国的に減少して久しくありますが、淡路 JC も例外ではありません。ここ近年の成果により多数の新入会員が入会しましたが、卒業を迎えるメンバーの多い年度が続き、会員数は横ばいの状態です。また、入会 3 年未満のメンバーが過半に迫るなど、新

たなる問題も浮上をしております。しかしながら、ここで歩みを止めてしまうと、また数年後にメンバーの減少が組織の存続を脅かすような大きな問題に発展するのは火を見るより明らかです。拡大において量をとるのか質をとるのかという議論もありますが、質を優先した拡大活動の大義などありません。量から質が生まれてくると考えるのが自然であり、それは「人は人で磨かれる」という台詞がすべてを物語っているものと考えます。ただ忘れてはいけないのは、拡大を行うメンバー自体が魅力あふれる人間であらねばならないという事です。そのことを前提に、我々が育まれた淡路島を本気で想い、一人ひとりが Jaycee として輝きを放つことでやっと、淡路島に住む仲間の心を動かすことができるのです。今こそ、メンバー全員で心をひとつに拡大活動を行い、より多くの仲間を募って参りましょう！

最後に

目標を設定し、目的を明確にすることは、物事を成し遂げていく上で必要不可欠なことであり、これは JC 活動においても例外ではありません。何処（目標）へ向かうのか明確に指し示すことは、ことのほか大切なことではありますが、行き先だけ伝えられても動けないし、モチベーションも上がりません。なにより、何のために（目的）其処へ行くのかという理由を明確にし、その方向へメンバー全員の意識を向ける必要があります。そして、掲げられた志が高ければ高いものであるほど大きな力が生まれるのは明白なことであります。

志高き大義を淡路 JC のメンバーと共有し「心ひとつ」にすることで、魅力にあふれ、どんな困難にも打ち勝てる組織になると確信します。

さあ！勇気を持って一歩前に踏み出そうではありませんか！

2. 基本方針

- 一、 勇気を持って前向きに行動しよう。
- 一、 淡路 JC マンらしさを次世代に繋ごう。
- 一、 メンバー全員で自覚を持って会員拡大しよう

3. 副理事長・室長 抱負

副理事長 新家春輝

藤井宏昌

時枝弘記

岸本篤人

室長 川越勇輔



一般社団法人淡路青年会議所では近年の拡大活動の成果により多くのメンバーが入会し、またそれと同時に経験豊かな多くの先輩方も卒業され、メンバー構成が大きく変わりました。これらのことは20歳から40歳という限られた活動期間の中では当然のことでありながらも、淡路JCの更なる発展のためには今後を担うメンバーの育成が必要不可欠です。このような状況下で、我々副理事長・室長の責務はさらに重要度を増していくと考えます。

諸先輩方はこれまで「淡路はひとつ」という理念の基、明るい豊かな淡路島を思い描き、時代の先駆者としての気概を持ち、力強く歩んでこられました。今日まで受け継がれてきたまちづくりに対する情熱や姿勢は54年目を迎える本年も受け継がれ、次代に継承されていくべきことであります。なぜなら、私たちの活動そのものが諸先輩方の築き上げてきた歴史と伝統の上に成り立っているからです。またJayceeとして日々活動していく上で、その指針となるのが三信条であります。近年あまり三信条を意識せずに、また意識していても深く理解せずにイメージだけで活動している傾向があります。一つひとつの行動が、地域のため、組織のためになっているのか、自分自身の成長に繋がっているのかを考えた上で行動し、我々の活動もまた歴史となる事を常に意識することが重要であります。私たちは日々のJC活動を行う中で歴史と伝統を受け継ぐことの重要性、またJayceeとして認識すべき自覚と責任を全メンバーに伝えて参ります。そして、それらをメンバー一人ひとりが身に付けることによって、淡路JCが淡路島の未来に対し正しい判断ができる確固たる組織となるように指導して参ります。

私たちは「明るい豊かな淡路島」に向け、日々の行動が「何のためか」をしっかりと認識し全メンバーに背中を見せ、全身全霊で活動していきます。

基本方針

1. 諸先輩方の意思を受け継ぎ、次世代へと引き継ぎます。
2. Jayceeとしての自覚と責任を全メンバーへ伝えます。
3. 三役間で心を共にし、JC活動・運動の成功へ向け全身全霊でサポート致します。

4. 専務理事抱負

専務理事 池澄 泰彦



我々一般社団法人淡路青年会議所は「淡路はひとつ」という理念の基、活動また運動して、本年度で54年目を迎えます。先輩方が積み重ねてこられた伝統を受け継ぎ、淡路JCの誇りを絶やしてはいけません。そして組織を更に発展させるために、メンバー一人ひとりが柔軟な発想と熱意を持って、行動していく必要があると考えます。

「明るい豊かな淡路島」を実現するためにはどんな苦難があっても常に前を向いて挑戦していかなければなりません。我々メンバーが暮らす淡路島を自らがつくるという高い志を持ち、メンバー一人ひとりが輝くことによって、淡路JCが輝き、そして、淡路島が輝くと信じています。どんなに時代が発展しても人が人によって磨かれ成長していくことはこれからも変わることはありません。人と人が真剣に向き合える環境を整え、共に活動する中で淡路JCを誇りに感じ、魅力あふれる組織となるようサポートしていきます。また、専務理事として、理事長の所信を最後まで貫けるように、メンバーに理事長の想いを浸透させ、様々な事業と関わり、理事長と各委員会が最大の力を発揮できるよう役目に徹します。また今一度、我々淡路JCの活動、目的に立ち返り、53年の伝統と淡路Jayceeとしてのプライドを改めて感じ取り、これからの淡路JCのあり方を考え、今まで以上にメンバー同士が真剣に向き合える志高い組織へと足元を固めるために、メンバーに想いを伝播していく所存です。

理事長の思い描く未来を浸透させ、理事長の所信を完遂すべく、専務理事の役職に徹し、すべての活動・運動をメンバーと共に汗を流し成功させることで、「明るい豊かな淡路島」の実現に前向きな変化を与え、どんな困難にも屈しない魅力あふれる組織になると確信しています。

基本方針

1. 理事長の所信を完遂するために、業務に粘り強く挑戦します。
2. メンバー同士が真剣に向き合って議論できる組織運営を行います。
3. 先輩から受け継いできた淡路JC魂を次世代のために伝播します。

5. 監事 抱負

監事 原田 啓行 平川 智己



54年間にわたり諸先輩方が築き上げてくれた英知を、次の世代がしっかりと受け継いでいくために、我々が果たす役割は大きいものと考えています。現在抱えている様々な問題の解決を図ることはもちろんですが、今年は何より「日本遺産」認定を果たさなければなりません。第54代中田勝文理事長が指し示された方向へ、各委員会が目的をもった目標をしっかりと定め、進むべき道を見失うことなく事業構築できるよう助言をまいります。また予算執行においても確実に行われるよう適切なアドバイス及び監査をまいります。時代に合わせて変えるべきものは「手法」であり、変えてはならない「本質」を見極め、明るい豊かな社会の実現に向けメンバー全員が勇気と情熱を以て望めるよう、一年間監事としての役目を全うして参ります。

基本方針

1. 第三者の立場として、客観性を持った目線からの確かなアドバイスを行います。
2. 青年会議所メンバーとしてのあるべき姿を追求し、指導いたします。

6. 公室長・委員長事業計画並びに予算及び役割業務

理事長公室

公室長 村田 泰志

スローガン

縁の下の舞



我々一般社団法人淡路青年会議所は設立以来、「淡路はひとつ」という理念の基、様々な事業を行ってまいりました。今年度も理事長の所信に基づき各委員長が円滑な事業を行うには、議論深まる会議が必要不可欠です。我々理事長公室は担当する会議を正確かつ迅速な対応、円滑な議論の場を提供できるよう準備しサポートします。また理事長の秘書的業務や専務理事の補佐など、基礎的役割を担い行動することが、理事長公室に与えられた役割であると考えます。

理事長公室では、各委員長が志高き事業を完遂する為に、理事会運営を円滑に行ってまいります。その為にも各事業の資料などの、事前確認を行い共有することで、議論深まる会議を目指し各委員長の想いを形にするサポートをしたいと思えます。また三役と各委員長等とコミュニケーションを図り、パイプ役として務めるのも理事長公室の大切な役割だと考えます。その為には、積極的に関わり合うことで意識の共有ができ、そして行動を共にすることで、心をひとつに出来る、魅力あふれる組織になると確信いたします。まずは、我々理事長公室メンバーが各委員会同士の連絡調整役として関わりを深めることでLOM全体の心をひとつにまとめ高めることによって、理事長所信を達成する一助になりたいと考えます。具体的には各委員会と連絡を頻繁に取り合い事前段階でのチェックを強化することで各会議の資料に不備の無いように、スムーズな会議を進行できるよう努めます。そのことにより合理的かつ時間短縮につながるシステムを調査し構築してまいります。

理事長公室メンバーが行動を持って、役割を着実に遂行していくことにより、LOMの活動がスムーズで活発になり、淡路JCが魅力あふれる組織となっていく原動力になるものと確信いたします。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額(円)	備考
・会員名簿及び名刺の作成	2月	会員名簿の発行	正会員 特別会員	320,000	
・総合資料の作成	2月	PDFデータ及びCD-R	正会員	1,000	保存用
・例会の企画・設営及び運営	7・12月	例会の企画及び運営	正会員 準会員	49,000	例会設営費
・総会の設営及び運営	1・8・12月	総会資料の作成及び議事録の作成	正会員 準会員	0	一般会計会議費
			合計	370,000	

役割業務	実施月	業務内容
・例会の企画・設営及び運営(2回)	7・12月	例会の企画・設営及び運営
・例会欠席者へのアテンダンスの案内及びフォロー	通年	
・理事長の秘書的業務及び専務事の補佐	通年	
・会員名簿及び名刺の作成	2月	会員名簿 2016年2月、名刺 2015年11月
・2016年度総合資料の作成	2月	総合資料の作成
・一般庶務事項及び発送文書の管理	通年	
・財務に関する処理及びコストダウンの調査	通年	
・渉外業務全般	通年	
・年会費・入会金の調査	通年	
・会費の徴収	前期・後期	
・事務局全般にわたる業務及び管理	通年	
・理事会の設営及び議事録の作成	通年	
・三役会の設営	通年	
・通信案内簿及び諸記録の整理	通年	
・会員拡大に関する業務	通年	
・公室活動の記録保存	通年	
・全事業への参加協力	通年	
・理事長諮問に関する答申業務	通年	選挙管理委員会の設置
・選挙管理委員会の設置	7月	
・総会の設営及び運営、総会資料及び議事録の作成	1・8・12月	総会の設営及び運営、総会資料及び議事録の作成

スローガン

「知行合一！淡路島の未来のために確固たる礎を築く」



淡路島は人口減少が進む中、コミュニティの衰退など地域社会に暗い影を落としています。しかし、島由来の豊かなアイデンティティを最大限に活かせる日本創生神話伝承地であることを広く周知させ、一体感のあるまちづくりを行えばそれらの問題解決が可能です。そこで、淡路島を世界へ伝えるコンセプトに基づいたストーリーを確固たるものとし、島内三市が同じ目標のもと団結し、心をひとつにして未来を切り拓くことが今、必要です。

現在、年間1,900万人の外国人が日本を訪れ、日本政府は2020年3,000万人を目標に掲げています。そして、訪日外国人の域内消費に注目した滞在型観光業等の交流人口の拡大施策が地域の活性化に繋がると言われています。淡路島は歴史、伝統、文化、気候風土等に恵まれ、魅力の宝庫であるため資源が点在しています。その中で、国生み神話における「日本のはじまりの地である淡路島」は唯一無二の価値です。その素晴らしい魅力をコンセプトとしたストーリーを国内外に示すことで交流人口を拡大し、域内消費を高めることは重要です。また、そのコンセプトとストーリーを島内三市が共有して同一の目標のもと連携協力することは、淡路島をより強い地域にし、今後の淡路島の発展には欠かせません。それらを確認なものにするのが日本遺産認定への取り組みです。そこで、設立当初から「淡路はひとつ」を基本理念として掲げて参りました我々が地域をまとめ先導し、確かな道筋と今後の地域のあり方を示すべく、日本遺産認定に向けて全力を尽くします。

日本遺産認定は、淡路島が価値ある地域であることを国内外に伝えるとともに、島内三市がひとつの軸を持ったまちづくりを展開できます。また、島民の誇りを確かなものにし、さらには活気が溢れ、住んでよし、訪れてよしの淡路島を実現することに繋がります。そして、国生み神話のように日本を創生する希望溢れる島になると確信いたしております。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額(円)	備考
・例会の企画・設営及び運営	1・3月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	150,000	
			合計	150,000	

役割業務	実施月	業務内容
・例会の企画・設営及び運営(2回)	1・3月	例会の企画・設営及び運営
・例会欠席者へのアテンダンス案内及びフォロー	通年	
・日本遺産推進に関する業務	通年	
・会員拡大に関する業務 (関連委員会との連絡調整)	通年	
・委員会活動の記録保存	通年	
・全事業への参加協力	通年	
・理事長諮問に関する答申業務	通年	

スローガン

「一致団結～広げよう同志の輪～」



「明るい豊かな淡路島」の実現のために我々は地域のリーダーとして力強く活動を推進していかなければなりません。近年、青年会議所の会員は全国的に減少の一途をたどっていますが、一般社団法人淡路青年会議所においては近年の拡大活動の成果により、多くのメンバーが入会しました。しかしながら、この結果に甘んじることなくメンバー一人ひとりが力を合わせ、LOM 全体で拡大活動に取り組み、淡路島の将来のことを共に考える同志を増やすことが必要不可欠であります。

本年度、会員拡大委員会では今後の組織力の源となる「会員数の増加」が淡路 JC の最重要課題と捉え、使命と責任を持って拡大活動に取り組みます。拡大活動では入会候補者に対して淡路 JC の魅力を発信し続けることが大切であります。そこで、自らが淡路 JC の先頭に立ち魅力を発信し続けることで、一人でも多くの候補者を入会へと導いて参ります。そして、当委員会メンバーを中心に会員拡大に対する重要性を今一度認識し、全メンバーに対して「全員で拡大」の意識向上を図ると共に、組織的に拡大活動を行うことのできる体制を速やかに確立いたします。まずは、普段の JC 活動も拡大活動の一部と捉え、当委員会が先頭を切ってメンバーと積極的に関わり、拡大活動に関する情報の収集・集約・周知徹底を行います。さらに、女性や入会年度の浅いメンバーのネットワークを有効に活用すると共に、LOM 全体で一致団結し拡大活動に取り組むことで、より多くの同志を入会へと導いて参ります。

LOM 全体で拡大活動に取り組むことで、メンバー個々が持つ淡路 JC としての使命感や責任感が醸成され、また同じ志を持つ仲間が増えることにより組織力の強化となり、ひいては「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がると確信しております。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額(円)	備考
・前期入会候補者説明会	3月	入会候補者説明会の企画・設営及び運営	正会員 入会候補者	28,500	
・6月例会の企画・設営及び運営	6月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	82,000	
・後期入会候補者説明会	9月	入会候補者説明会の企画・設営及び運営	正会員 入会候補者	28,500	
			合計	139,000	

役割業務	実施月	業務内容
・例会の企画・設営及び運営(1回)	6月	例会の企画・設営及び運営
・例会欠席者へのアテンダンス案内及びフォロー	6月	
・会員拡大に関する統括業務	通年	
・入会説明会の企画・設営及び運営	3・9月	入会説明会の企画・設営及び運営
・ゴルフ同好会・卒業コンペの開催	通年	
・委員会活動及び事業の記録保存	通年	
・全事業への参加協力	通年	
・理事長諮問に関する答申業務	通年	

スローガン

交わるこそ大事を成す



多種多様な職種・考え方を持った組織において、時にその価値観の違いから意見の相違や情報共有がままならない事が多々あります。しかし、団体としての目的を達成するために強い組織になる事が重要であり、そのためにはメンバー全員が一体となり、同じ方向に進んでいく事であると考えます。その上でメンバー同士のコミュニケーションの場を設け、思いを語り合い、互いを知る事で共に成長していく事が必要であります。

交流とは、互いを行き来することの意味がこめられており、いわばメンバー同士の心を繋ぎ理解し合う事こそが不可欠であります。互いに理解し繋がりを深めて行くために当委員会は、メンバーが積極的に活動できる様に率先して行動していきます。またメンバー同士の交流をより深め、今後の活動に一人ひとりが自ら参画していただけるよう多くの機会を設けてまいります。また同じ目的意識を持ち共に活動し、様々な考え方に触れることで人から学び、一人では成し得ない大きな力が生まれることを実感していただきます。そして、達成感や感動をメンバー同士で共有する事で、交流の大切さを感じ今後の活動に繋げてまいります。まず新年会では、昨年の御礼をかねたおもてなしをし、淡路島おどり大会では、活力ある淡路JCを発信し、3回の例会では、段階を経てメンバー同士の繋がりをより強固なものとし、そして家族懇親会では、日頃活動を支えてくれている家族に感謝を示し、メンバーと家族の交流を図り今後の活動に繋がる関係を構築します。

交流をなすことこそが、JC活動の魅力に改めて気づき、今後の様々なJC活動により主体的に取り組むきっかけとなり得ます。これにより会員同士の繋がりが更に深まり一致団結し仲間のために行動するようになり、そして組織力向上に繋がり「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がると確信します。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額(円)	備考
・新年会の企画・設営及び運営	1月	新年会の企画・設営及び運営	正会員・特別会員・来賓・他 LOM	250,000	会場設営等
・例会の企画・設営及び運営	4・5・9月	例会の企画・運営及び運営	正会員 準会員	99,000	会場設営等
・淡路島まつりおどり大会の企画・設営及び運営	8月	淡路島まつりおどり大会の企画・設営及び運営	正会員 準会員 特別会員・他 LOM	160,000	会場設営等
・家族懇親会の企画・設営及び運営	12月	家族懇親会の企画・設営及び運営	・家族 正会員・準会員・家族	168,000	会場設営等
			合計	677,000	

役割業務	実施月	業務内容
・新年会の企画・設営及び運営	1月	新年会の企画・設営及び運営
・例会の企画・設営及び運営	4・5・9月	例会の企画・設営及び運営
・淡路島まつりおどり大会の企画・設営及び運営	8月	淡路島まつりおどり大会の企画・設営及び運営
・家族懇親会の企画・設営及び運営	12月	家族懇親会の企画・設営及び運営
・例会欠席者へのアテンダンスの案内及びフォロー	通年	
・公的出向の際のLOMナイトの設営及び運営	通年	LOMナイトの設営
・会員拡大に関する業務(関連委員会との連絡調整)	通年	
・委員会活動及び事業の記録保	通年	
・全事業への参加協力	通年	
・理事長諮問に関する答申業務	通年	

スローガン

温故知“真” ～「^{まこと}真」の先の「^{あらた}新」へ～



組織において、人材の育成は最も重要な課題のひとつです。一般社団法人淡路青年会議所においても、新人は先輩に導かれながら成長し、成長したメンバーがまた次の世代を導く、という循環が繰り返されてきたことで我々は淡路JCの54年目を担うメンバーとして活動が行えます。54年目のメンバー構成を見ると、近年の拡大活動の結果若手メンバーが増え、入会3年未満のメンバーについてはその割合が過半数に迫ろうとしております。若手が多いということは今後を担う力として大きな可能性を秘めている反面、導き方を誤れば大きな損失に繋がる可能性もあります。次世代を担う若手の成長を待つばかりでなく、能動的に育成を行うことが今後の活動をよりよい結果へと導くために非常に効果的であり、重要性も高いと考えます。

本年度、当委員会では入会年度の浅いメンバーが淡路JCへの理解をより深め、今後大きな力となりうる人材へと育成するために活動を行って参ります。ホームページ・対内広報誌へ紹介を行うことや、メインとなる研修事業、JC活動の基礎である例会の場面において若手に活躍の場を与えることで多くの気づき・学びを手に入れ、組織にとって大きな力となる「人財」へと成長を遂げられる環境を構築します。またその過程は上の世代との交流や意見交換の場にもなり、それぞれがどのような想いでJC活動に取り組んでいるかを知ることのできるため、若手にとっては新たな情報を得られる機会となり、他のメンバーにとっても自らの活動を省みる機会となります。

次世代を担う人財の成長は他の世代にもよい刺激となって伝播し、組織の活性化を促すことで淡路JCを今以上に盛り立てることが「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がると確信いたします。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額(円)	備考
・例会の企画・設営及び運営	2・8・10 月	例会の企画・運営	正会員 準会員	76,000	
・次世代育成事業の企画・設営及び運営	6月	育成事業の企画・設営及び運営	正会員	150,000	
・対内広報誌の発行	通年	JC プレスの発行	正会員 特別会員	320,000	
・ホームページの管理・運営	通年	ホームページの管理・運営	正会員 一般	148,000	
			合計	694,000	

役割業務	実施月	業務内容
・例会の企画・設営及び運営(3回)	2・8・10 月	例会の企画・運営
・例会の設営(12回)	通年	
・例会欠席者へのアテンダンス案内及びフォロー	通年	
・次世代育成事業の企画・設営及び運営	6月	入会の浅いメンバーによる育成事業の企画・設営及び運営
・対内広報誌の発行	通年	対内広報誌の発行
・ホームページの管理・運営	通年	ホームページの管理・運営
・LOM事業の記録及び保存のための取材活動	通年	
・会員拡大に関する業務(関連委員会との連絡調整)	通年	
・委員会活動の記録保存	通年	
・全事業への参加協力	通年	
・理事長諮問に関する答申業務	通年	

スローガン

未来志向～愛する故郷に誇りを～



我が国において、少子高齢化問題は全国的な共通課題でありながらも、成熟した社会基盤の中では、摂理であり、ますます加速していくことが明確です。特に我々が住む淡路島においては、その状況が顕著であり、さらには中央への人口流出が大きな問題となっています。そんな状況下において必要なことは、その打開策を模索するのではなく、高度成長から成熟社会へと躍進してきた中で失われてしまった日本人として持ち合わせるべき立身の志、そして愛郷心を育てることに他ならないと考えます。

「志を以って万事の源と為す」我々一般社団法人淡路青年会議所が未来ある子どもたちのためにできることは、子どもたちが立身の志を持って全国へ、そして世界へ羽ばたかせるよう、郷土が誇れる人財へと育成することにあります。またその過程において、この国強いては我々が住まう故郷への感謝の心を持つこと、即ち愛郷心、帰属意識を伝えることが不可欠であります。それらの内面的な受益機会を創出することこそが、現代社会における未来を見据えた、子どもたちの健全育成であると考えております。本年度、当委員会ではわんぱく相撲淡路場所、そして青少年育成事業を通じ、子どもたちに思いやりや感謝の心を育むことで、人として備えるべき素養の醸成を図ります。そして日本人として、また、郷土人として持ち合わせるべき志を身につけると共に、育ててくれた故郷に対しての愛郷心、帰属意識の向上に取り組んで参ります。

未来を担う子どもたちが愛郷心を持ち、志を抱いて成長することで、郷土が誇れる人財育成につながり、そしてまた、その子どもたちが愛郷心のもと、受けた恩を未来の淡路島のためにしっかり返していくことこそが何より「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がるものと確信しております。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額 (円)	備考
・兵庫ブロック公式訪問資料作成、役員懇談会の企画・設営及び運営	2月	兵庫ブロック公式訪問資料作成、役員懇談会の企画・設営及び運営	正会員・準会員・他LOM	63,000	会場費等
・わんぱく相撲淡路場所の企画・設営及び運営	5月	わんぱく相撲淡路場所の企画・設営及び運営	淡路島在住小学生	129,000	会場費等
・青少年育成事業の企画・設営及び運営	8月	青少年育成事業の企画・設営及び運営	淡路島在住中・高生	800,000	会場費等
・例会の企画・設営及び運営	11月	例会の企画・設営及び運営	正会員・準会員	100,000	会場費等
			合計	1,092,000	

役割業務	実施月	業務内容
・兵庫ブロック公式訪問資料作成、役員懇談会の企画・設営及び運営	2月	兵庫ブロック公式訪問資料作成、役員懇談会の企画・設営及び運営
・わんぱく相撲淡路場所の企画・設営及び運営	5月	わんぱく相撲淡路場所の企画・設営及び運営
・青少年育成事業の企画・設営及び運営	8月	青少年育成事業の企画・設営及び運営
・例会の企画・設営及び運営	11月	例会の企画・設営及び運営
・例会欠席者へのアテンダンスの案内及びフォロー	通年	
・会員拡大に関する業務 (関連委員会との連絡調整)	通年	
・委員会活動の記録保	通年	
・全事業への参加協力	通年	
・理事長諮問に関する答申業務	通年	

7. 出 向 者 抱 負

公益社団法人日本青年会議所
国際アカデミー委員会

平川 智己



公益社団法人日本青年会議所 国際アカデミー委員会へ出向させていただくことになりました。当委員会は世界各国のリーダーたちと触れ合い、ともにリーダーシップ学ぶ中で志同じうする世界各地のメンバーと共に切磋琢磨し自己の成長、LOMに寄与できるよう努めます。ご支援、ご協力よろしくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
事務局次長

波戸 大樹



兵庫ブロック協議会 事務局次長に出向させていただくことになりました。諸会議の設営、会議運営、事務局長の補佐が主な役割です。今まで培った経験を活かして、またブロックで新たな経験をLOMへ持ち帰り役立てたいと考えます。淡路JCとして出向していると常に意識して頑張っております。メンバーの皆様には一年間ご指導、ご鞭撻宜しくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
書記

伊山 真司



兵庫ブロック協議会 書記に出向をさせていただくことになりました。諸会議の設営、会議中運営補佐ならびに議事録作成が主な役割です。会議がスムーズに気持ち良く行なっていただける設営を心がけ、また出向者である自覚を持ち、それに伴った行動をとってまいります。1年間どうぞよろしくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
兵庫創造委員会 委員長

三浦 義崇



2016 年度公益社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会
兵庫創造委員会委員長として出向させていただくことになりました。
委員長出向ということで、責任と多くの担いを頂いておりますが、兵
庫県内を全力で走り切り、より良い事業になるように邁進してまいり
ます。また、その経験を淡路 JC へとお返しできるようにと努めてまい
ります。一年間よろしくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
兵庫創造委員会

竹田 良平



本年度、公益社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協
議会 兵庫創造委員会に出向させて頂くことになりました。役割とし
てまして知事懇談会、JC カップの開催など、ブロックにおいても中
心事業となりますので、委員長を支え、また自身の成長となるよう
精いっぱい務めて参ります。委員会・事業へのご理解・ご協力賜り
ますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
日本 JC 連携推進会議

時枝 弘記



本年度、兵庫ブロック協議会 日本 JC 連携推進会議に出向させて
いただくことになりました。会議では、地域再興政策に関する業務・
共感経済社会の実現に向けた運動推進・選挙における公開討論会の
実施に関する業務等を担っています。内容が濃いものばかりですの
で、LOM での経験を十分に活かし、淡路 JC から出向する責任を全
うして参りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
アカデミー委員会

小川 優一



兵庫アカデミー委員会へ出向させていただきありがとうございます。淡路青年会議所の看板を背負って出向することの重みを感じております。これからの1年、役割を全うできるよう頑張りたいと思います。より多くの人との出会いをとおして、これからのJC活動に役立て、そして人として成長できるように精進していこうと考えています。ご指導の程宜しく願いいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
アカデミー委員会

筈屋 千賀



この度、兵庫アカデミー委員会に出向させて頂くこととなり、誠にありがとうございます。アカデミー出向は他LOMの方々との交流を深め、JC活動をする上で、スキルアップをするまたないチャンスだと思っております。まだJC歴が浅く、至らない私ではございますが、いろいろご指導のほどよろしく願いいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
アカデミー委員会

横山 奈津紀



この度、兵庫アカデミー委員会に出向させて頂くことになりました。研修・事業を通じて他LOMのメンバーと交流を深め、それぞれの地域の特色を感じながら、良いものをどんどん取り入れたいと思っています。そのことで、自分自身のスキルアップ、そして地域貢献に繋げていけるように、努めたいと考えています。1年間よろしく願いいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
日本の姿確立委員会



植野 泰幸

本年度、兵庫ブロック協議会日本の姿確立委員会に出向させていただくことになりました。当委員会では、日本のあるべき姿を導き出す運動を取り組む委員会となっています。そこで得た経験を LOM に持ち帰ることができるよう活動に邁進いたします。どうぞよろしくお願いいたします

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
JC運動発信委員会



藤川 龍介

この度JC運動発信委員会に出向させていただくことになりました。ブロック HP・Facebook の管理・運営や各種会議・大会におけるナイト・ブース設営などが主な役割となっております。今年度私の担いに重なる部分も多いので、委員会出向の際は情報交換をし、得たものをLOMに持ち帰り、そしてまたブロックに還元するという相乗効果を得られるように1年間頑張っております。よろしくお願いいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
ブロック大会運営委員会



新家 春輝

会員大会運営委員会に出向させていただくことになりました。今年の会員大会は豊岡での開催となっております。そこで培った経験を持ち帰り、LOMのメンバーにしっかりお伝えしたいと思います。1年間頑張っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
財務規則審査会議

滝本 拓之



本年度、兵庫ブロック協議会 財務規則会議に出向させていただくことになりました。ブロックの委員会から上程される議案を財政面、コンプライアンス面で審査していきます。他 LOM の方々と交流し、一年間の経験を淡路 JC に持ち帰り、フィードバックできるよう頑張りますのでどうぞよろしくお願ひします。

8. 正味財産増減予算

自2016年 1月1日
至2016年12月31日
単位:円

科 目	修正予算額	当初予算額	決算額	備考
	H28.1.1～H28.12.31	H28.1.1～H28.12.31	H27.1.1～H27.12.31	
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 受取入会金	0	0	0	
② 受取会費	7,240,000	6,920,000	7,770,000	
正会員受取会費	6,880,000	6,560,000	7,440,000	41名×¥160,000、4名×80,000
その他受取会費	360,000	360,000	330,000	卒業生12名×¥30,000
③ 事業収益	0	0	2,629,280	
受託事業収益	0	0	0	
登録料	0	0	2,399,280	
その他事業収益	0	0	230,000	
④ 受取負担金	0	0	0	
⑤ 寄付金	0	0	480,000	
⑥ 雑収益	1,500	1,500	13,520	
受取利息	1,500	1,500	1,627	
配当金	0	0	500	
雑収益	0	0	11,393	
経常収益計	7,241,500	6,921,500	10,892,800	
(2) 経常費用				
① 事業費				
給料手当	72,400	72,400	152,400	
福利厚生費	0	0	0	
会議費 賃借料	779,480	779,480	754,422	
消耗品費	527,809	527,809	347,574	
レンタル料	0	0	241,280	
食糧費	65,000	65,000	473,770	
人件費	0	0	0	
支払手数料	110,000	110,000	430,000	
講師関係費	46,880	46,880	14,190	
謝礼金	165,000	165,000	325,000	
資料作成費	215,196	215,196	164,900	
広告普及費	164,480	164,480	731,246	
報告書作成費	0	0	59,799	
旅費交通費	100,000	100,000	306,500	
交際費	120,000	120,000	2,158,000	
保険料	76,300	76,300	20,900	
印刷製本費	660,000	660,000	654,000	
通信運搬費	13,777	13,777	9,150	
支払負担金	11,000	11,000	21,000	
雑費	67,078	67,078	24,836	
事業費計	3,194,400	3,194,400	6,888,967	

科 目	修正予算額	当初予算額	決算額	備考
	H28.1.1~H28.12.31	H28.1.1~H28.12.31	H27.1.1~H27.12.31	
②管理費				
会議費	10,000	10,000	9,360	
給料手当	907,600	907,600	823,020	
退職給付引当金			0	
福利厚生費	155,000	155,000	123,375	交通費・雇用保険料
渉外費	200,000	200,000	162,030	旅費¥60,000+各種登録¥78,000
慶弔費	200,000	200,000	80,600	
減価償却費	80,000	130,000	89,465	
消耗品費	450,000	450,000	428,253	コピー用紙・トナー他
消耗什器備品費	0	0	0	
通信費	500,000	500,000	409,911	電話代・JCプレス送料等
印刷製本費	30,000	30,000	28,080	
賃借料	1,020,000	1,020,000	1,020,000	¥85,000×12ヶ月
光熱水料費	250,000	250,000	225,767	
謝礼金	100,000	100,000	100,000	税理士報酬
修理費	50,000	50,000	126,565	
租税公課	25,000	25,000	22,552	印紙代・県民税(¥22,000)
雑費	100,000	100,000	88,099	新聞代等
小計	4,077,600	4,127,600	3,737,077	
③負担金				
JCI会費	61,875	56,375	63,000	¥1,375×45名
日本JC会費	255,000	235,000	280,000	¥30,000+¥5,000×45名
国際協力資金	82,125	74,825	91,250	¥5×365日×45名
近畿地区会費	83,000	75,800	92,000	¥2,000+¥1,800×45名
兵庫ブロック会費	265,000	245,000	290,000	¥40,000+¥5,000×45名
小計	747,000	687,000	816,250	
管理費計	4,824,600	4,814,600	4,553,327	
経常費用計	8,019,000	8,009,000	11,442,294	
当期経常増減額	△ 777,500	△ 1,087,500	△ 549,494	
2.経常外増減の部				
(1)経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
経常外費用増減額				
一般正味財産増減額	△ 777,500	△ 1,087,500	△ 549,494	
一般正味財産期首残高	8,086,779	7,777,757	8,636,273	
一般正味財産期末残高	7,309,279	6,690,257	8,086,779	
II 正味財産期末残高	7,309,279	6,690,257	8,086,779	

2016年度 委員会別事業予算明細

委員会名	収入の部		支出の部		備考
	科目	予算額	科目	予算額	
理事長公室	事業収入	370,000	会場費 賃借料	35,600	
			消耗品	10,800	
			食糧費	0	
			人件費	0	
			支払手数料	0	
			講師関係費	0	
			諸謝金	0	
			資料作成費	2,460	
			広告普及費	0	
			報告書作成費	0	
			旅費交通費	0	
			交際費	0	
			保険料	0	
			印刷製本費	315,000	
		通信運搬費	0		
		支払負担金	0		
		雑費	0		
		予備費	6,140		
	小計	370,000	小計	370,000	
日本遺産推進会議	事業収入	150,000	会場費 賃借料	66,000	
			消耗品	41,984	
			食糧費	0	
			人件費	0	
			支払手数料	0	
			講師関係費	36,480	
			諸謝金	0	
			資料作成費	2,666	
			広告普及費	0	
			報告書作成費	0	
			旅費交通費	0	
			交際費	0	
			保険料	0	
			印刷製本費	0	
		通信運搬費	492		
		支払負担金	0		
		雑費	0		
		予備費	2,378		
	小計	150,000	小計	150,000	
会員拡大	事業収入	139,000	会場費 賃借料	61,200	
			消耗品	16,200	
			食糧費	0	
			人件費	0	
			支払手数料	0	
			講師関係費	5,400	
			諸謝金	0	
			資料作成費	2,460	
			広告普及費	0	
			報告書作成費	0	
			旅費交通費	50,000	
			交際費	0	
			保険料	0	
			印刷製本費	0	
		通信運搬費	0		
		支払負担金	0		
		雑費	0		
		予備費	3,740		
	小計	139,000	小計	139,000	
会員交流	事業収入	677,000	会場費 賃借料	141,200	
			消耗品	178,000	
			食糧費	0	
			人件費	0	
			支払手数料	110,000	
			講師関係費	5,000	
			諸謝金	15,000	
			資料作成費	3,280	
			広告普及費	0	
			報告書作成費	0	
			旅費交通費	0	
			交際費	120,000	
			保険料	16,300	
			印刷製本費	3,000	
		通信運搬費	10,907		
		支払負担金	1,000		
		雑費	51,578		
		予備費	21,735		
	小計	677,000	小計	677,000	

委員会名	収入の部		支出の部		備考
	科目	予算額	科目	予算額	
次世代育成	事業収入	694,000	会場費 賃借料	105,000	
			消耗品	26,200	
			食糧費	0	
			人件費	0	
			支払手数料	0	
			講師関係費	0	
			諸謝金	0	
			資料作成費	201,460	
			広告普及費	0	
			報告書作成費	0	
			旅費交通費	0	
			交際費	0	
			保険料	0	
			印刷製本費	342,000	
			通信運搬費	0	
		支払負担金	0		
		雑費	0		
		予備費	19,340		
	小計	694,000	小計	694,000	
未来創造	事業収入	1,092,000	会場費 賃借料	370,480	
			消耗品	190,800	
			食糧費	65,000	
			人件費	0	
			支払手数料	0	
			講師関係費	0	
			諸謝金	150,000	
			資料作成費	2,870	
			広告普及費	164,480	
			報告書作成費	0	
			旅費交通費	50,000	
			交際費	0	
			保険料	60,000	
			印刷製本費	0	
			通信運搬費	2,378	
		支払負担金	10,000		
		雑費	15,500		
		予備費	10,492		
	小計	1,092,000	小計	1,092,000	
全体	事業収入	3,122,000	会場費 賃借料	779,480	
			消耗品	463,984	
			食糧費	65,000	
			人件費	0	
			支払手数料	110,000	
			講師関係費	46,880	
			諸謝金	165,000	
			資料作成費	215,196	
			広告普及費	164,480	
			報告書作成費	0	
			旅費交通費	100,000	
			交際費	120,000	
			保険料	76,300	
			印刷製本費	660,000	
			通信運搬費	13,777	
		支払負担金	11,000		
		雑費	67,078		
		予備費	63,825		
	合計	3,122,000	合計	3,122,000	

9. 2015年度 一般社団法人淡路青年会議所 役員名簿

【理事長】	中田 勝文
【直前理事長兼監事】	平川 智己
【監事】	原田 啓行
【副理事長】	新家 春輝
	岸本 篤人
	時枝 弘記
	藤井 宏昌
【室長】	川越 勇輔
【専務理事】	池澄 泰彦
【出向理事】	三浦 義崇
【理事】	植野 泰幸
	滝本 拓之
	竹田 良平
	藤川 龍介
	村田 泰志
	吉井 崇行

10. 出向者一覧

公益社団法人日本青年会議所

出 向 先	役 職	出向者氏名
国際アカデミー委員会	委 員	平川 智己

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

出 向 先	役 職	出向者氏名
	事務局次長	波戸 大樹
	書 記	伊山 真司
兵庫創造委員会	委員長	三浦 義崇
兵庫創造委員会	委 員	竹田 良平
日本JC連携推進会議	委 員	時枝 弘記
兵庫アカデミー委員会	委 員	小川 優一
兵庫アカデミー委員会	委 員	筈屋 千賀
兵庫アカデミー委員会	委 員	横山 奈津紀
日本の姿確立委員会	委 員	植野 泰彦
JC運動発信委員会	委 員	藤川 龍介
ブロック大会運営委員会	委 員	新家 春輝
財務規則審査会議	委 員	滝本 拓之

